

第 5 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書
第 5 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(大淀川森林計画区)

計画期間

自 平成 3 0 年 4 月 1 日
至 平成 3 5 年 3 月 3 1 日

九 州 森 林 管 理 局

第 5 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書

(大淀川森林計画区)

計画期間

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 5 年 3 月 3 1 日

九 州 森 林 管 理 局

はじめに

我が国の国土面積の2割、森林面積の3割に当たる国有林野の管理経営は、森林経営の用に供するものとされた国有財産として、①国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、併せて、②林産物を持続的かつ計画的に供給し、③国有林野の活用によりその所在する地域の産業の振興又は住民の福祉の向上に寄与することを目標として行うこととされている。

このような中で、森林に対する国民の要請は、国土の保全や水源の涵養^{かん}に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり^{もり}等^りの面での期待が高まるなど、公益的機能の発揮に重点を置きつつさらに多様化してきた。特に、国有林野に対しては、地球温暖化防止、生物多様性の保全の面での期待が大きくなってきた。加えて、国有林野と民有林野を通じた公益的機能の発揮が強く期待されているものの、地域によっては、国有林野に隣接する民有林野において十分な整備や保全が行われていない状況もみられる。また、戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、我が国の林政は、森林・林業の再生に向け、大転換を進めており、国有林野事業については、民有林への指導やサポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献することが求められている。

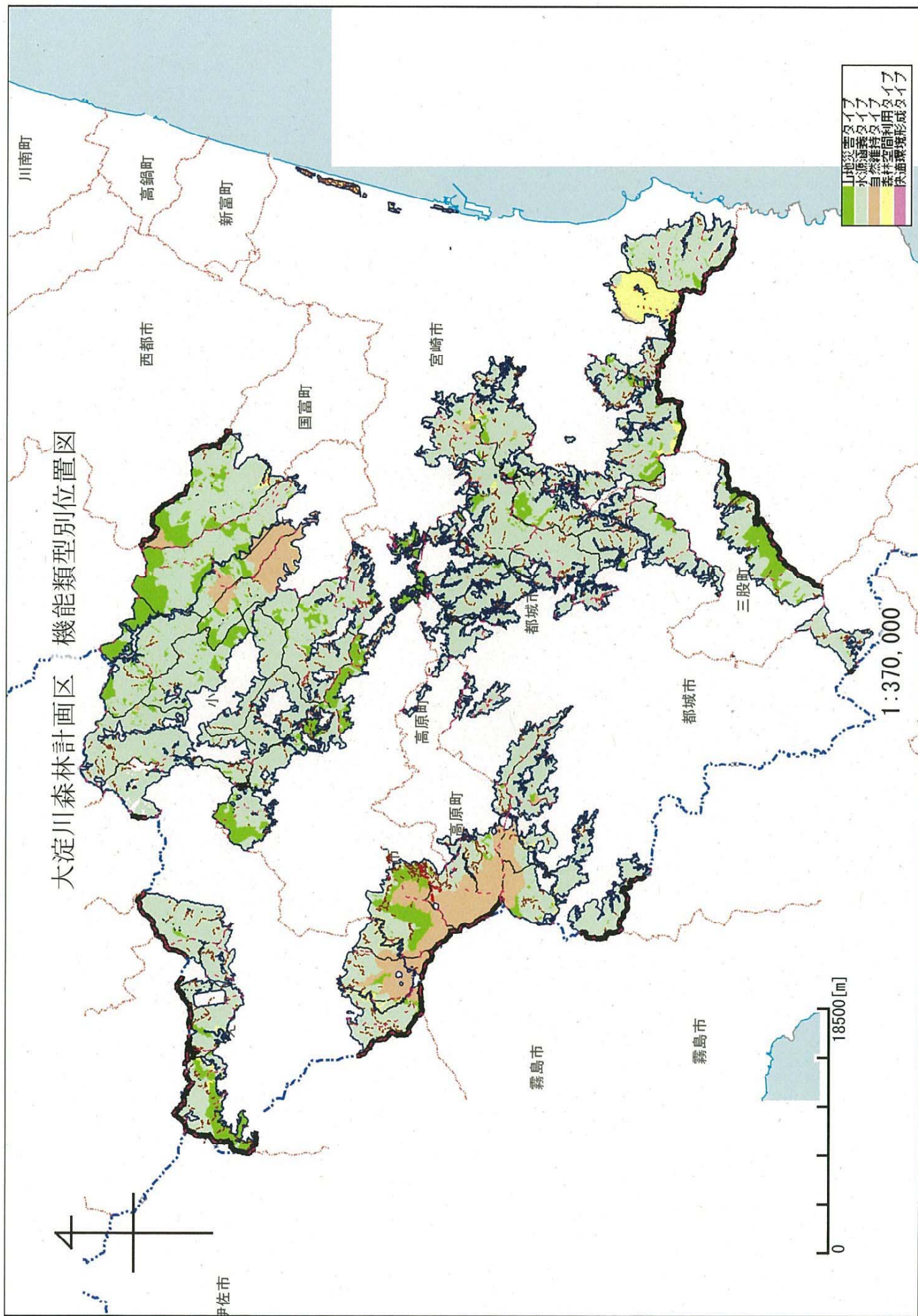
こうしたことを踏まえ、国有林野事業については、公益的機能の発揮のための事業や民有林への指導やサポート、木材の安定供給等の事業を、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、一層計画的に実施していくため、平成25年度から、それまでの特別会計により企業的に運営する事業から一般会計において実施する事業に移行した。

従って、国有林野事業は、冒頭^もの目標の下、森林・林業や国有林野事業に対する国民の多様な要請と期待を踏まえつつ、一般会計において国民共通の財産である国有林野を名実ともに「国民の森林^{もり}」とするよう、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して森林・林業再生へ貢献するための取組を進めていくこととする。

本計画は、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年法律第246号）第6条第1項の規定に基づいて、九州森林管理局長が、国有林野の管理経営に関する基本計画に即し、国有林の地域別の森林計画と調和させ、あらかじめ国民の意見を聴いた上で、今後5年間の大淀川森林計画区における国有林野の管理経営に関する基本的な事項について定めたものである。

今後、大淀川森林計画区における国有林野の管理経営は、関係住民の理解と協力を得ながら、さらに、関係行政機関と連携を図りつつ、この計画に基づいて適切に行うこととする。

大淀川森林計画区 機能類型別位置図



目 次

1	国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(1)	国有林野の管理経営の基本方針	1
①	森林計画区の概況	1
②	国有林野の管理経営の現状及び評価	8
③	持続可能な森林経営の実施方向	9
④	政策課題への対応	1 1
(2)	機能類型に応じた管理経営に関する事項	1 1
①	山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他 山地災害防止タイプに関する事項	1 1
②	自然維持タイプにおける管理経営の指針その他 自然維持タイプに関する事項	1 2
③	森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他 森林空間利用タイプに関する事項	1 2
④	快適環境形成タイプにおける管理経営の指針その他 快適環境形成タイプに関する事項	1 3
⑤	水源涵養 ^{かん} タイプにおける管理経営の指針その他 水源涵養 ^{かん} タイプに関する事項	1 3
(3)	森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項	1 3
①	低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及	1 4
②	林業事業体の育成	1 4
③	民有林と連携した施業の推進	1 4
④	森林・林業技術者等の育成	1 4
⑤	林業の低コスト化等に向けた技術開発	1 4
⑥	その他	1 4
(4)	主要事業の実施に関する事項	1 4
①	伐採総量	1 5
②	更新総量	1 5
③	保育総量	1 5
④	林道の開設及び改良の総量	1 5
(5)	その他必要な事項	1 6
2	国有林野の維持及び保存に関する事項	1 6
(1)	巡視に関する事項	1 6
(2)	森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項	1 6
(3)	特に保護を図るべき森林に関する事項	1 6
(4)	その他必要な事項	1 7
3	林産物の供給に関する事項	1 7
(1)	木材の安定的な取引関係の確立に関する事項	1 7
(2)	その他必要な事項	1 7

4	国有林野の活用に関する事項	17
	(1) 国有林野の活用の推進方針	17
	(2) 国有林野の活用の具体的手法	18
	(3) その他必要な事項	18
5	公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全に関する事項	18
	(1) 公益的機能維持増進協定の締結に関する基本的な事項	18
	(2) 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全に関する事項	19
6	国民の参加による森林の整備に関する事項	19
	(1) 国民参加の森林に関する事項	19
	(2) 分収林に関する事項	19
	(3) その他必要な事項	19
7	その他国有林野の管理経営に関し必要な事項	20
	(1) 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項	20
	(2) 地域の振興に関する事項	20
	(3) その他必要な事項	20

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 国有林野の管理経営の基本方針

国有林野の管理経営は、国有林野の管理経営に関する基本計画に即するとともに、国有林の地域別の森林計画と調和して、機能類型区分等による公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術・資源を活用して森林・林業再生へ貢献することを基本方針とする。

なお、当該森林計画区における概要等は以下のとおり。

① 森林計画区の概況

本計画の対象は、大淀川森林計画区を管轄区域とする国有林野89,333ha(不要存置林野34haを含む。)であり、宮崎県中央部に位置し、大淀川流域を包括する4市3郡(4町)からなり、大淀川の源流部から海岸に位置している。

森林の現況は、人工林を主体とした育成林が54,187ha(育成単層林51,940ha、育成複層林2,247ha)、天然生林が31,474haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではカシ類、ナラ類、クヌギなどとなっている。また、林相別に見ると針葉樹林46,602ha、針広混交林8,723ha、広葉樹林30,336haとなっている。

本計画区には、掃部岳(1,223m)、国見山(861m)、高千穂峰(1,574m)韓国岳(1,700m)に代表される山岳からなり、急峻な地形を呈している。霧島山系一帯は霧島錦江湾国立公園に指定されているなど自然環境の保存・形成等に重要な役割を果たしている。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の75%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されているとともに、本計画区4市4町は木材産業に対する依存度が極めて高いため、民有林との連携を図りながら、林業・林産業の振興を図ることが地域の重要な課題となっている。

さらに、綾町、小林市、国富町からなる国有林、県有林、民有林(約1万ha)においては、平成17年5月に九州森林管理局、宮崎県、綾町、綾の照葉樹林プロジェクト推進協議会、日本自然保護協会との間で、綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画推進協定書(略称:綾の照葉樹林プロジェクト)が締結され、原生的な照葉樹林の保護、二次林や人工林からの照葉樹林への復元に向けた取組みが行われている。

このため、本計画では、林産物の供給や地域振興への寄与にも配慮しつつ、国土の保全その他国有林に対する期待が大きくなっている地球温暖化の防止、生物多様性の保全等にも対応した管理経営を行うこととする。

各地区ごとに重点的に行うべき管理経営は次のとおりである。

ア 青島地区(宮崎1～18、20、22～35、39～41、46林班)

青島地区は、内海及び青島からなる地区で、加江田川、内海川支流に属し、全般的に緩斜面となっている。海岸に面した斜面は断崖面で多くは急斜面又は懸崖となっている。

急斜面地等は、地形、地質等から山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、宮崎自然休養林等は、多様な樹種、形相からなり、保健、文化、教育的活動に適した施設が整備されており、保健文化機能の発揮が期待されていることから「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、森林の大部分はスギ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

イ 本田野地区（宮崎42、45、47～65、88林班）

本田野地区は、四万十累層群上部に属する地域で砂岩、頁岩からなり、その層理は複雑に乱れその随所に頁岩の風化部分が露出している。全般に緩斜面の丘陵性の地形をなす地区であるが、一部、急傾斜地もあることから、山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、大半は、スギ人工林が多く、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ウ 鱈塚山地区（宮崎66～78、83、84林班）

鱈塚山（1,118m）を中心とした標高800～1,000mの起伏の多い山岳地帯をなす地区である。

山頂一帯は天然林であり、自然環境の保全・形成に努め生態系の維持・保全を図ることが期待されていることから「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、鱈塚山の下流部は、水源かん養保安林に指定され、山地災害防止機能および水源涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、山麓部には、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

エ 青井岳地区（宮崎79～82、85～87、都城1095～1111、1246～1251林班）

本計画区域の中で最も低地帯を占める丘陵性地形の地区である。標高は590mが最高で、一般的に波状丘陵性地帯で、山脚も短く上昇斜面が多く、稜線は丸みを帯びて明確でない。大淀川支流境川の集水域に位置し、農業用水利ダムも設置されており、山地災害防止機能や水源涵養機能を発揮させることが期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、境川沿いの天然林については、地元から保護要請が強く、保健保安林、風景林に指定されており、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、一部のスギ人工林については、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

オ 一ツ葉地区（宮崎 94 林班）

樹齢55～90年のクロマツ人工林がほとんどの団地である。明治30年に潮害防備保安林に指定されており、ヒューマン・グリーンプランとして野鳥の森、ふれあいの森等を設置している。

また、隣接地に「宮崎・日南リゾート構想」による施設が整備され、国民の保健休養の場、野外スポーツの場等に利用されており、保健文化機能と生活環境保全機能との調和を図ることが期待されていることから「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

カ 高岡地区（宮崎 201～245、252～269 林班）

丘陵性の地形で谷沿いには急傾斜地も見られるが、全体的には緩傾斜地が多い地区である。

高房台及び境川上流部の一分には、樹齢100年以上の天然林があり、原生林と渓谷美から優れた自然景観を有し、風致探勝林や希少個体群保護林に指定されている。このように、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、一部稜線部の森林については地形・地質等の条件から天然林を中心に山地災害防止機能や水源^{かん}涵養機能を発揮させることが期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源^{かん}涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、山麓部には、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

キ 内山地区（宮崎 270～313 林班）

内山地区は九州山地南部地域を占める山系の支脈である。七熊山（929m）、三ツ石山（814m）、大口（621m）を結ぶ稜線と汐鶴岳（675m）、土然ヶ丘（589m）、七郎山（501m）を結ぶ分水嶺に包括される区域及び大淀川に沿って連なる標高200m以下の山地からなる地区である。

須志原地域の国有林の一部は、水源^{かん}養保安林に指定されており、山地災害防止機能及び水源^{かん}涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源^{かん}涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

これ以外の大部分は、スギ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ク 綾北川地区（宮崎 2091～2143、2151～2153 林班）

市ノ俣山（882m）、掃部岳（1,223m）、盤木山（711m）等が連なる一ツ瀬川森林計画区界と西俣山（917m）、大森岳（1,109m）を結ぶ稜線に囲まれる地区で中央を大淀川の支流である綾北川が貫流し日向灘に注いでいる。

本地区の大森岳北東側斜面及び綾北川左岸の北浦、柚園国有林一帯及び田代ヶ八重ダム沿線は、地形・地質等の条件から山地災害防止機能及び水源^{かん}涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源^{かん}涵養タイプ」に区分する。

また、綾川上流域に残された原生的な照葉樹林は、日本一の規模を誇るとされ、局型的な植生を有する区域では、照葉樹林を象徴する森林相観を有しており、常緑のブナ科樹木のほとんどの種が分布し、植生の垂直分布が見られるとともに、貴重な動植物の分布域であり、学術的に高い価値と希少性を有していることから、綾森林生態系保護地域に指定するなど、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、山麓部には、スギ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ケ 綾南川地区（宮崎 2001～2008、2010～2025、2027～2078、2080～2090 林班）

九州中央山地の南部で熊本県界に位置する赤木山（910m）、市ノ俣山（882m）等が連なる稜線から分岐し、東南に延びる西俣山（917m）、大森岳（1,109m）を結ぶ稜線と国見山（746m）と軍谷峠、七熊山（929m）を結ぶ支脈で囲まれる地区で、ほぼ中央を大淀川の支流である本庄川（綾南川）が、小林市（須木地区）の中心部を通過し、日向灘に注いでいる。

この上流は、小林市（須木地区）の大部分を包括しており、集落を取り囲む里山地帯で丘陵性の緩やかな地形で、本庄川の上流域に位置しており、山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、大森岳及び綾南川周辺は、保健保安林、九州中央山地国定公園に指定されており、カシ類、タブノキ等を主体とした天然林で優れた自然景観を有している。

特に、綾南川周辺は、「21世紀に残すべき自然100選」に選ばれており、地元の綾町が「照葉の森の綾の里」として照葉大吊り橋を架設するなど、地域活性化に役立っている。なお、貴重な動植物の分布域であり、学術的に高い価値と希少性を有していることから綾森林生態系保護地域に指定するなど、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

さらに、一部については、スギ、ヒノキ人工林の生育が良好で、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

コ 深年川地区（宮崎 2154～2173 林班）

掃部岳（1,223m）、盤木山（711m）等を結ぶ稜線と釈迦ヶ岳（831m）を囲む地区である。

掃部岳から釈迦ヶ岳に向かう稜線部分は、地形も急峻であり、山地災害防止機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、掃部岳周辺については、西日本を代表する貴重な自然生態系を有しており、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

さらに、釈迦ヶ岳周辺の丘陵性地形をなす里山については、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

サ 多羅原地区（宮崎 1081～1094 林班）

掃部岳から盤木山にかけて延びる稜線の東側で、三名川を挟んで位置する地区である。稜線部及び溪流沿いについては、地形、地質等の条件から山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されていることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、靱木林道周辺は、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

シ 加久藤地区（都城 3001～3020 林班）

球磨川森林計画区に接する国見山（861m）、矢岳山（739m）等の山々が東西に細長く横たわる地区である。

真幸地域の大部分は、土砂流出防備保安林に指定されている。過去には、豪雨により山腹崩壊が発生し、下流域に甚大な被害をもたらした経緯があり、地形、地質等の立地条件から山地災害防止機能を発揮させることが期待されていることから「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、矢岳・黒原周辺は県立自然公園に指定されており、霧島連山及びえびの盆地が眺望できる風致景観に優れた地域であり、保健文化機能の発揮が期待されることから「森林空間利用タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、一部はスギ、ヒノキ人工林の生育も良好で、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ス 飯野地区（都城 3021～3043 林班）

鉄山（715m）、天狗山（941m）等が中央にほぼ南北に横たわり、全般に山頂部は丸みをおびた山脚に急傾斜の多い地区である。

一部は、水源涵養機能の発揮が期待されることから「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

なお、一部については、スギ、ヒノキ人工林の生育が良好で、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

セ 白鳥地区（都城 3051～3069 林班）

韓国岳（1,700m）を最高峰にして、火山円錐火口が群立する一大火山巣を形成する地区である。

山麓上部（標高600～1,000m）には暖帯性から温帯性樹種までの原生的な植生分布が見られる。

さらに、えびの高原一帯は霧島アカマツを主体に、モミ、ツガ、ミズナラ等が混生する天然林風致景観の要所地帯で、ミヤマキリシマや自生地が国の天然記念物に指定されているノカイドウも見られ、霧島山生物群集保護林に設定されているとともに、霧島錦江湾国立公園にも指定されている。この地域においては、生態系の維持・保存や保健文化的利用、自然環境の保全・形成を図ることが期待されていることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、一部は、水源涵養機能の発揮が期待されることから「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

さらに、山麓部の大部分には、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携も念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

なお、県道30号線（えびの高原・小田線）沿線に生育しているスギ人工林（白鳥スギ）については、白鳥神社周辺に生育しているものは全面的に保残することとし、その他の地区で風害等により今後衰退が予想される林分等については、広葉樹への樹種転換を図ることとする。

ソ 真方地区（都城2001～2013林班）

大淀川の支流、永久井野川上流に位置し、地形は、上昇及び平衡斜面で急峻な地形を有している。

永久井野川の右岸については、地形、地質等の条件から、山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、それ以外の大部分には、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

タ 木浦木地区（宮崎3027～3029、4016～4027林班）

本計画区域の北部に位置し、地形は、上昇及び平衡の複合斜面で、起伏が大きく特に下腹部は急峻である。谷筋部の天然林では、温暖性樹種からなる林相を呈し、モミ、ツガ、ブナ、ミズナラ等の樹齢50～200年生が分布している。沢沿いについては、山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、大部分は、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

チ 東方・奈佐木地区（宮崎3030～3034、3048～3065、 都城2034～2047林班）

大淀川の支流、岩瀬川上流に位置し標高400～800mで、集落を包含する地区である。谷ノ木川沿いは、山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、浜ノ瀬川流域東側の山麓部は、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努める。

ツ 野尻地区（宮崎3066～3078、3123林班）

大淀川の支流で戸崎川上流に位置し、標高300～500mで、東部に帯状に伸びた地区である。一部には浸食の進んだ谷も見られ、地形、地質等の条件から山地災害防止機能の発揮が期待

されることから、「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

山麓部は、火山灰の堆積の厚い丘陵性の地形を形成しており、大部分の面積はスギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努める。

テ 霧島地区（都城 2079～2122 林班）

高千穂峰（1,574m）、韓国岳（1,700m）の両主峰を中心に大小円錐火口が群立し一大火山巣を形成する。北側斜面一帯で、中腹以上は急斜地、陰阻地となっている。中腹以下は、比較的緩斜地をなし山麓に至っては台地状、丘陵状を呈する地区である。

標高700m以上は、霧島錦江湾国立公園の特別保護地区、第1種及び第2種特別地域に指定されている。林相はシイ類、タブノキ、イスノキ、カシ類、マツ類の暖温帯性樹種からモミ、ツガ、ブナ等の混生した冷温帯性樹種の分布が見られる垂直的植生分布の代表的林相で霧島山生物群集保護林に設定されている。御池周辺及びえびの高原へ通じる登山道周辺は、霧島錦江湾国立公園第2種、第3種特別地域に指定されており、観光、保健保養等の利用が多く、自然環境の保全・形成及び保健文化機能の発揮が期待されることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、夷守岳中腹以上は急斜地で崩壊が多く見られ、山地災害防止機能の発揮が期待されることから、「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

さらに、中腹以下の台状地の一帯は、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ト 高城地区（都城 1～14、16～77 林班）

都城市の東北部に位置し、東岳（837m）を最高峰とし、標高400～500mの小峰が連なる丘陵地であり、大淀川の支流花ノ木川及び東岳川の集水域に位置し、都城市の水がめとして、水源涵養機能の発揮が期待されていることから「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

ナ 三股・中郷地区（都城 78～109 林班）

都城市の南東部に位置する三股地区は、柳岳（952m）を最高峰として比較的高峰を連ねる急傾斜地が多いため、特に山地災害防止機能及び水源涵養機能の発揮が期待されることから、「山地災害防止タイプ」及び「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、本計画区最南端の中郷地区の緩斜地は、スギ、ヒノキ人工林の生育も良好であり、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ニ 高崎地区（都城 202～217、219～231、233～243、 246～273、276～282 林班）

高千穂峰の北東に位置し、霧島山岳の南面一帯を占めており、上部はタブノキ、イチイガシ等の広葉樹とモミ、ツガ、カヤ等が混生する天然林で、霧島錦江湾国立公園における風致景観の要所をなしている。一方、中部から下部にかけて、御池から霧島山麓を横断する道路

周辺についても、風致景観の維持及び野生鳥獣の生息上重要な地域であり、生態系の維持・保存や保健文化機能の発揮が期待されることから「自然維持タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、土砂流出防備保安林に指定されている地域については、山地災害防止機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

さらに、一部は、スギ、ヒノキ人工林の生育も良好であり、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

ヌ 矢岳地区（都城4030～4033、4038、4046～4048、4052、4053、4058、4061、4062、4064、4067林班）
滝下山（785m）から矢岳山（739m）、国見山（861m）に至る山岳地帯の北側斜面を占める地区である。

滝下山下部、大塚地区及び4058林班は、水源涵養機能の発揮が期待されることから「水源涵養タイプ」に区分して管理経営を行うこととする。

また、他の地域は、スギ、ヒノキ人工林が多いことから、民有林との連携を念頭に置きつつ、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的かつ計画的な供給に努めることとする。

② 国有林野の管理経営の現状及び評価

本計画区の国有林は、宮崎森林管理署及び宮崎森林管理署都城支署で管理経営しており、本計画の対象とする国有林野面積は89,299haで九州森林管理局管内国有林総面積の17%を占めている。

蓄積は23,861千m³で九州森林管理局総蓄積の18%を占めている。また、人工林面積は52,329haで人工林率は61%となっている。

森林の種類は、普通林が15,083haで17%を占めており、制限林が74,216haで83%となっている。

なお、制限林のほぼ100%が保安林であり、その内水源かん養保安林が90%を占めている。

大淀川森林計画区内の森林資源状況

（単位：ha、m³）

区 分	人工林	天然林	その他	合計
面 積	52,329	33,332	3,638	89,299
蓄 積	17,571,658	6,286,635	2,703	23,860,996

主要施策に係る前計画における計画量と実行量について下表に示す。

伐採立木材積に関して、地域における木材の安定供給を図るため、育成単層林の皆伐を主に計画したが、公売不調等から計画量を下回る結果となるとともに、これに連動して造林面積も計画量を下回った。

また、間伐については、地球温暖化防止対策等に資する森林整備の推進を図るため実行したが、計画量を下回る結果となった。

林道等の開設又は拡張については、優先度を考慮して計画をしたが、計画量を下回る結果となった。

主要施策に係る計画量と実行量

項 目	計 画	実 行
伐採立木材積	2,503,600 m ³	1,768,928 m ³
主伐	888,000 m ³	759,673 m ³
間伐	1,615,600 m ³	1,009,255 m ³
造林面積	2,044 ha	778ha
人工造林	1,835 ha	697ha
天然更新	209 ha	81 ha
林道等の開設又は拡張	開設：197.0km 拡張：76箇所	開設：49.9km 拡張：46 箇所

③ 持続可能な森林経営の実施方向

国有林野の管理経営に当たっては、開かれた「国民の森林」の実現を図り、現世代とともに将来世代へ森林からの恵沢を伝えるため、住民の方々の意見を聴き、機能類型区分や森林の適切な整備・保全等による持続可能な森林経営に取り組んでいくこととする。

また、持続可能な森林経営については、日本はモントリオール・プロセスに参加しており、この中で森林経営の持続可能性を客観的に把握し評価するための7基準（54指標）が示されている。本計画区の国有林野について、この基準を参考に取り組んでいる施策及び森林の取扱方針を整理すると次のとおりとなる

I 生物多様性の保全	<p>地域の特性に応じた多様な森林生態系を保全していくため、針広混交林等からなる多様な林相の森林を整備及び保全していくとともに、貴重な野生動植物が生息・生育する森林について適切に保護・保全するほか、施業を行う場合でも適切な配慮を行う。関連する主な施策として、厳格な保全・管理を行う保護林のモニタリング調査等を通じた適切な保全・管理等を推進するとともに、原生的な天然林や里山林、溪畔林、保護樹帯等を各々の林相に応じ適切な整備・保全を行い、森林生態系のネットワークの構築を図る。</p>
II 森林生態系の生産力の維持	<p>森林としての成長力を維持し健全な森林を整備していくため、間伐等の適切な実施と伐採後の更新確保による健全な森林の整備とともに、公益的機能の発揮と両立した木材の生産を行う。関連する主な施策として、計画、設計、施工の各段階において森林生態系との調和を図りつつ、林道、作業道等の適切な組合せによる路網の計画的な整備を推進する。</p>
III 森林生態系の健全性と活力の維持	<p>外部環境から受ける影響から森林の劣化を防ぐため、森林病虫害や山火事等から森林を保全するとともに、被害を受けた森林の回復を行う。関連する主な施策として、松くい虫の被害のまん延防止のため、薬剤による防除、伐倒駆除等に取り組むとともに、シカによる森林被害の状況を踏まえ、被害防除対策を実施する。</p>
IV 土壌及び水資源の保全と維持	<p>降雨に伴う浸食等から森林を守るとともに、森林が育む水源の涵養のため、山地災害により被害を受けた森林の整備、復旧や公益的機能の維持のために必要な森林の保全を行うとともに、森林施業においても裸地化する期間の短縮や尾根筋や沢沿いでの森林の存置を行う。関連する主な施策として、安全・安心に暮らせる環境づくりを目指して、民有林と国有林が連携した効果的な治山対策に取り組む。</p>
V 地球的炭素循環への森林の寄与の維持	<p>地球温暖化防止に貢献するため、吸収源となる森林を確保するため育成林の整備を推進するとともに、天然生林の保全を行うほか、森林整備の円滑な推進と二酸化炭素の貯蔵庫として機能を維持するため木材利用を推進する。関連する主な施策として、除間伐を主体に森林整備を推進するとともに、治山事業における間伐材等の利用促進や間伐材を使用した紙製品の普及に取り組む。</p>
VI 社会の要望を満たす長期的・多面的な社会・経済的便益の維持及び増進	<p>国民の森林に対する期待に応えるため、森林が有する多面的機能の効果的な発揮とともに、森林浴や森林ボランティア、環境教育等森林と人とのふれあいの確保のためのフィールドの提供等や森林施業に関する技術開発等に取り組む。関連する主な施策として、「レクリエーションの森」のPRや施設整備等に努めるなど、「国民の森林」として充実を図るとともに、学校のカリキュラムへの森林環境教育の導入、「遊々の森」の設定の推進、教職員を対象とした森林教室の実施等、学校との連携の強化に取り組む。</p>
VII 森林の保全と持続可能な経営のための法的、制度的及び経済的枠組	<p>I～VIで記述した内容を着実に実行し「国民の森林」として開かれた管理経営を行うため、国有林野に関連する法制度に基づく各計画制度の適切な運用はもとより、管理経営の実施に当たっては国民の意見を聴きながら進めるとともに、モニタリング等を通じて森林資源の状況を把握する。関連する主な施策として、国有林モニターを活用し、国有林野事業等に対する意見、要望等を聴取するとともに、国有林野事業の運営等について国民の理解の促進を図る。</p>

④ 政策課題への対応

本計画区の国有林では、国土保全や水源涵養等の公益的機能の維持増進、森林・林業再生に向けた取組、森林環境教育や森林とのふれあい、国民参加の森林づくりの推進、地球温暖化防止や生物多様性の保全などの政策課題に対応している。

とりわけ、森林・林業の再生に向けた取組としては、林業事業者等への計画的な事業の発注による安定的・計画的な木材の供給、ケーススタディ地区の設定等、森林総合監理士の活用による民有林行政支援、民有林・国有林一体となった森林共同施業団地の設定等に取り組んでいるところである。

(2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、

- ・ 山地災害防止タイプ（土砂流出・崩壊防備エリア、気象害防備エリア）
- ・ 自然維持タイプ
- ・ 森林空間利用タイプ
- ・ 快適環境形成タイプ
- ・ 水源涵養タイプ

の機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行う。

なお、地域別の森林計画における公益機能別施業森林との関係は下表の通り。

○ 機能類型と公益的機能別施業森林の関係

機能類型		公益的機能別施業森林			
		水源涵養機能維持増進森林	山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林	快適環境形成機能維持増進森林	保健機能維持増進森林
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備エリア	○	○		
	気象害防備エリア	○	○	○	
快適環境形成タイプ		○		○	
水源涵養タイプ		○			
自然維持タイプ		○	○		○
森林空間利用タイプ		○	○		○

また、機能類型区分に応じた管理経営にあたっては「管理経営の指針」（別冊）によるほか、次の点に留意して、個々の林分の地況、林況等の立地条件に応じて適切に行うこととする。なお、各機能の発揮を図るために導入する林相の維持・改良等に必要な施業により生じる木材については、有効利用を図る。また、年齢構成の平準化・バイオマス利用等の地域ニーズに応じた主伐を計画的に行うことにより木材の供給を図る。

① 山地災害防止タイプにおける管理経営の指針その他山地災害防止タイプに関する事項

山地災害防止タイプは、土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、次の事項に留意して、保全対象と当該森林の位置的關係、地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえた適切な管理経営を行うこととする。

ア 土砂流出・崩壊防備エリア

山地災害防止タイプのうち、土砂流出・崩壊防備エリアでは、根系が深くかつ広く発達し、常に落葉層を保持し、適度の陽光が入ることによって下層植生の発達が良好な森林であって、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設等が整備されている森林を整備の目標とする。

イ 気象害防備エリア

山地災害防止タイプのうち、気象害防備エリアでは、樹高が高く下枝が密に着生しているなど遮蔽能力が高く、諸被害に対する抵抗性の高い樹種によって構成される森林を目標とする。

山地災害防止タイプの面積

(単位：ha)

区 分	山地災害防止タイプ	うち、土砂流出・崩壊防備エリア	うち、気象害防備エリア
面 積	17,749	17,747	2

② 自然維持タイプにおける管理経営の指針その他自然維持タイプに関する事項

自然維持タイプは、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、原則として自然の推移に委ねるとともに、生物多様性の保全等に配慮した管理経営を行うこととする。

自然維持タイプの面積

(単位：ha)

区 分	自然維持タイプ	うち、保護林
面 積	6,778	6,322

③ 森林空間利用タイプにおける管理経営の指針その他森林空間利用タイプに関する事項

森林空間利用タイプは、スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの保健・文化的利用の形態に応じた管理経営を行うこととする。

森林空間利用タイプの面積

(単位：ha)

区 分	森林空間利用タイプ	うち、レクリエーションの森
面 積	2,266	1,488

- ④ 快適環境形成タイプにおける管理経営の指針その他快適環境形成タイプに関する事項
 快適環境形成タイプは、騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの機能に応じた管理経営を行うこととする。

快適環境形成タイプの面積

(単位：ha)

区 分	快適環境形成タイプ
面 積	-

- ⑤ 水源涵養^{かん}タイプにおける管理経営の指針その他水源涵養^{かん}タイプに関する事項
 水源涵養^{かん}タイプは、国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、渇水緩和や水質保全等の水源涵養^{かん}機能を高めるため、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系や下層植生の発達が良好で諸被害に強い森林の整備を目標として管理経営を行うこととする。なお、これら条件の維持できる範囲で森林資源の有効利用に配慮するものとする。

水源涵養^{かん}タイプの面積

(単位：ha)

区 分	水源涵養 ^{かん} タイプ
面 積	62,506

(3) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献に必要な事項

民有林関係者と連携して推進する森林の流域管理システムの下、森林の有する多面的機能の持続的発揮を基本としつつ、我が国の森林・林業の再生に貢献していくため、県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織・技術力・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組むこととする。

また、このことを通じて、地域経済の発展や山村地域の振興に寄与するよう努めるものとする。

① 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及

林業事業者等と連携し、低コストで効率的な施業を展開するとともに、これに関する研修会の開催等を通じ、民有林に対する低コストで効率的な施業の普及に努める。

② 林業事業者の育成

民有林行政と連携しつつ、林業事業者への計画的な事業の発注、安定的・計画的な木材の供給及び林業事業者の育成に努める。さらに、流域で生産された木材の利用促進、システム販売の推進及び木質バイオマス資源の活用に向けた木材需給情報の交換に努める。

③ 民有林と連携した施業の推進

森林共同施業団地の設定により、民有林・国有林一体となった効率的な路網の整備、計画的な間伐の実施等に努める。

森林共同施業団地の概況

箇所数	面積 (ha)	
	国有林	民有林
2	3,682	3,733

④ 森林・林業技術者等の育成

事業の発注や研修フィールドの提供等を通じて、民有林の人材育成支援に努める。

⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

産学官連携の下、林業の低コスト化に向けた技術開発の推進に努める。

⑥ その他

国民の森林としての管理経営を推進する観点から、森林環境教育の推進、生物多様性の保全に係る取組の推進（関係市町村等と連携した鳥獣被害対策の実施等）、安全・安心の取組に係る情報提供等に努める。

(4) 主要事業の実施に関する事項

本計画及び前計画期間における伐採、更新、保育及び林道の事業総量は以下のとおりである。

事業の実施に当たっては、原則として全面的に民間に委託し、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全、生物多様性の保全等に十分配慮しつつ、森林吸収源対策として間伐に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化や里山の整備等、地域の現況を踏まえ、多様で健全な森林の整備・保全を推進することとする。更新・保育については、伐採事業との一体的な実施や新たな林業技術の導入等による造林・育林作業の低コスト化に取り組むこととする。林道等の路網については、森林の公益的機能が高度に発揮されるよう施業方法に応じて計画的に整備することとする。

また、労働災害がなく、健康で明るく働けるように労働安全衛生の確保に努めるとともに、計画的な事業の発注等により林業事業者の育成・整備を図ることとする。

① 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	主 伐	間 伐	計
本 計 画	1,003,863	1,547,776 (14,455)	2,551,639 [105,361]
前 計 画	888,000	1,615,600 (14,961)	2,503,600

注：（ ）は、間伐面積である。

[] は、臨時的な伐採量で外書き。

② 更新総量

(単位：ha)

区 分	人工造林	天然更新	計
本 計 画	1,940	8	1,948
前 計 画	1,835	209	2,044

③ 保育総量

(単位：ha)

区 分	下 刈	つる切	除 伐	枝 打	ぼう芽整理
本 計 画	5,815	1,022	1,438	168	-
前 計 画	3,685	922	1,391	-	61

④ 林道の開設及び改良の総量

区 分	開 設		改 良	
	路線数	延長量(m)	箇所数	延長量(m)
数 量	74	115,700	103	34,000

- (5) その他必要な事項
特になし。

2 国有林野の維持及び保存に関する事項

(1) 巡視に関する事項

① 山火事防止等の森林保全巡視

本計画区には国立公園等が指定されており、また、レクリエーションを目的とした森林への入込利用者が多く、このため、地元市町村等関係機関との連携を密にして標識類の整備、山火事防止の宣伝、啓発活動、森林火災訓練等に努めるとともに、森林保全巡視を強化し、山火事の未然防止に万全を期することとする。

また、廃棄物の不法投棄については、地元市町村等関係機関、森林保全巡視員及びボランティア団体との連携の強化を図り防止に努めることとする。

② 境界の保全管理

境界標の巡検及び境界巡視を確実にを行い、境界の保全管理に努めることとする。

(2) 森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項

森林病虫害による被害の早期発見及び早期駆除を図るために、適切な森林の巡視に努めることとする。

(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項

貴重な自然環境を有する天然林等が多数存在しており、これらの森林については、生物多様性の保全を図るうえで重要であり、保護林として設定し適切に保護・保全を図っていくとともに、巡視活動やモニタリング調査を通じた適切な保全・管理を推進することとする。

① 保護林

種 類	箇 所 数	面 積 (ha)
森 林 生 態 系 保 護 地 域	1	1,167
生 物 群 集 保 護 林	3	5,006
希 少 個 体 群 保 護 林	7	149
総 数	11	6,322

② 緑の回廊

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)
綾川上流	5	2,270

(4) その他必要な事項

本計画区の国有林野の大半が水源かん養保安林に指定されているなど、水源涵養^{かん}の上で重要な森林が多く存在することから、保安林等の適切な管理に努めることとする。

また、自然災害等により劣化した森林の再生・復元に努めるとともに、ニホンジカなどの野生鳥獣との共存に向けた森林の整備や被害対策、ボランティア団体等と協働・連携し、荒廃した植生の回復措置を行うなど、森林生態系の保全等のための取組について、環境行政との綿密な連携を確保しつつ推進することとする。

さらに、台風など自然の脅威にさらされている地域であることから、事業実行に当たっては水源の涵養^{かん}、山地災害の防止、景観の保持等に十分に配慮することとする。

溪畔周辺については、野生生物の生息・生育場所や移動経路の提供、種子などの供給源等として、生物多様性の保全上重要な役割を担っているため、本来成立すべき植生による上流から下流までの連続性を確保することにより、よりきめ細やかな森林生態系ネットワークの形成に努めることとする。

3 林産物の供給に関する事項

(1) 木材の安定的な取引関係の確立に関する事項

国有林材を計画的・安定的に供給するため、輸入木材に対して競争力の持てる簡素で合理的な生産・流通・加工システムづくりを目指し、間伐材を中心に大規模需要先へ定時・定量・定価格で丸太を供給する安定供給システム販売に取り組むこととする。

さらに、民有林・国有林が連携しつつ合理的な販売・流通体制の確立を目指し、国産材の需要・販路の拡大に努めることとする。

(2) その他必要な事項

林産物の供給に当たっては、効果的かつ効率的な取組を推進することとし、間伐材の利用促進に当たっては、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムの定着を図りつつ、素材販売により実施するとともに、木質バイオマス資源として利用可能な低質材等の安定供給にも努めることとする。

また、木造の庁舎等の整備、森林土木工事等の公共工事において間伐材等を積極的に利用する等、木材利用の促進に取り組むこととする。

4 国有林野の活用に関する事項

(1) 国有林野の活用の推進方針

国有林野の活用に当たっては、地域の社会的・経済的状況、住民の意向等を考慮して、また、地域における産業の振興、住民の福祉の向上等に資するよう、国有林野の管理経営との調整を図りつつ、積極的に推進することとする。

本計画区内の宮崎市、都城市を中心とする一帯は、貴重な高山植物や優れた自然環境など豊富な観光資源に恵まれ、登山、ハイキング、キャンプなど保健休養の場として広く市民に親しまれている。

また、国有林は、下流域への水資源及び各種用水の確保など重要な役割を果たしているこ

とから、下流域住民等の参加する水資源の造成を推進することとする。

このような国有林野の活用については、森林の公益的機能等との調整を図りつつ積極的に推進することとする。

レクリエーションの森

種 類	箇所数	面 積 (ha)
自然休養林	1	1,430
自然観察教育林	1	95
風景林	1	234
野外スポーツ地域	1	211
風致探勝林	1	113
その他レクリエーションの森	1	2
総 数	6	2,085

(2) 国有林野の活用の具体的手法

国有林野の活用に当たり、道路等の公用・公共用地等については貸付又は売払い等によることとする。また、水源林造成等については分収林制度を積極的に活用することとする。

(3) その他必要な事項

国有林野の活用に当たっては、水源の涵養、自然環境の保全等の森林の持つ公益的機能との調和を図るとともに、土地利用に関する計画等との必要な調整を行った上で、積極的に推進することとする。

「レクリエーションの森」については、魅力あるフィールドとして整備し、その活用を推進していくこととする。

5 公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全に関する事項

(1) 公益的機能維持増進協定の締結に関する基本的な事項

国有林に隣接・介在する民有林の中には、小規模で孤立分散し立地条件が不利であること等から森林所有者等による施業が行われず、当該民有林における土砂の流出等の発生が国有林の発揮する国土保全等の機能に悪影響を及ぼすなど、国有林の公益的機能の維持増進への支障となることが懸念される場合がある。

このような場合、国有林の有する公益的機能の維持増進を図るために有効かつ適切なものとして、森林施業の集約化を図るための林道や森林作業道の開設とこれらの路網を活用した施業等を民有林と一体的に行い、民有林の有する公益的機能の維持増進にも寄与するよう、公益的機能維持増進協定制度の活用を努めることとする。

(2) 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び保全に関する事項

公益的機能維持増進協定の締結に当たっては、民有林の森林所有者等にも原則として相応の費用負担を求めるなど、合理的な役割分担の下での一体的な森林の整備及び保全の実施に向けた条件整備を進めることとする。

6 国民の参加による森林の整備に関する事項

(1) 国民参加の^{もり}森林に関する事項

ボランティア団体等との協定に基づく「ふれあいの森」等により、国民の自主的な参加による森林整備活動等を推進することとする。

名称	面積 (ha)	位置 (林小班)
守ろう県民の財産 白砂青松の森	5.87	宮崎9 4い
石崎浜ふれあいの森	3.04	宮崎9 4ぬ1

(2) 分収林に関する事項

森林に対する国民の要請が多様化する中で、社会貢献活動として^{もり}森林づくりに自ら参加・協力したいという企業等の要請に応えるため、分収林制度の活用による森林整備を推進することとする。

(3) その他必要な事項

協定の締結により継続的に体験活動ができる「遊々の森」等を活用して、豊かな自然環境を有する国有林野を多様な体験活動の場として積極的に提供し、森林環境教育の推進に努めることとする。

また、教職員やボランティアのリーダー等に対する普及啓発や技術指導、森林環境教育のプログラムや教材の提供等を積極的に推進することとする。

さらに、森林管理署等は、国民参加による森林の整備・保全等に関する情報の提供、国民からの相談への対応、国民参加の支援を行う拠点としての機能を発揮するよう努めることとする。

名称	面積 (ha)	位置 (林小班)
ひむか里山の森	52.94	宮崎213な～う、214は～と、215わ
やすらぎの森	84.13	宮崎219い～ぬ2、か、か1、む～お
ユニバースアカデミー 第2キャンパス童夢の森	8.17	都城259へ、か～た、260ち、261ぬ

7 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

(1) 林業技術の開発、指導及び普及に関する事項

列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた高効率・低コストな作業システムの定着やコンテナ苗植栽の推進等による低コスト造林の導入・定着を図ることとする。

国有林野事業において開発、改良された林業技術については、現地検討会の開催、モデル林、各種試験地等の設置等を通じて、地域林業関係者等への普及・定着を図ることとする。

また、研究機関等が行う林業技術の開発及び林業機械の導入試験等に対しては、フィールド提供を積極的に行うこととする。

(2) 地域の振興に関する事項

機能類型に応じた適切な管理経営を行い、山地災害の防止、水源の涵養^{かん}、自然環境の保全、保健・文化・教育的利用、木材の安定供給等を通じて地域振興に寄与するよう努めることとする。また、その際には次の点に留意することとする。

- ① 分収造林及び国有林野の利活用の要請に対しては積極的に対応する。
- ② 林道については、地域の実態を踏まえ、生活道路としての機能の発揮に十分留意する。

(3) その他必要な事項

特になし。

第5次国有林野施業実施計画書

(大淀川森林計画区)

計画期間

自	平成30年4月	1日
至	平成35年3月	31日

九州森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	3
	(5) 更新総量	5
	(6) 保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	13
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	14
	(1) 保護林の名称及び区域	14
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	19
6	レクリエーションの森の名称及び区域	20
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	23
8	その他必要な事項	24
	(1) 施業指標林、試験地等	24
	(2) フィールドの提供	27
	(3) その他	27
	(4) 森林共同施業団地	29
	(附 属 資 料)	
1	国有林野の現況	33
	(1) 担当区別の区域及び面積	33
	(2) 保安林、自然公園等の面積	37
	(3) 林況(林種等別齢級別面積、蓄積及び成長量)	38
2	機能類型別の国有林野の現況	46
3	林道等の現況	47
4	収穫予想表	47
5	地元施設等の現況	47
別表1	収穫予想表	48

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等 (単位：ha)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢等
施業群	スギ・ヒノキ普通伐期	11,326.62	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	スギ 40～60 ヒノキ45～70
	スギ長伐期	17,951.68	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による皆伐新植を行う	70～100
	ヒノキ長伐期	12,898.74	同上	80～120
	アカマツ長伐期	694.27	同上	80
	ケヤキ長伐期	122.50	同上	150
	その他人工林	501.69	伐採箇所の縮小、分散化による皆伐新植を行う	60上
	保護樹帯	5,581.65	被害木等について択伐を行う	60
	スギ・ヒノキ複層林	2,174.26	伐採箇所の縮小、分散化による複層伐を行う	短期型 80 長期型 100
	その他複層林	164.60	伐採箇所の縮小、分散化による複層伐を行う	特に定めない
	天然林長伐期	1,310.92	伐採箇所の縮小、分散化、長期化による択伐及び皆伐を行う	100
	天然林広葉樹	6,919.64	伐採箇所の縮小、分散化による択伐及び皆伐を行う	35上
	しいたけ原木	881.30	皆伐1回目以降は、ぼう芽更新を行う	15
施業群設定外		0.75		
合計		60,528.62		

注： スギ・ヒノキ普通伐期のスギ40～60年、ヒノキ45～70年及びスギ長伐期70～100年、ヒノキ長伐期80～120年は、地域管理経営計画の経常樹立年度において逐次、それぞれ60年、70年、100年、120年伐期に移行させることを含む。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積
(単位：ha)

施 業 群	上限伐採面積
スギ・ヒノキ普通伐期	809
スギ長伐期	897
ヒノキ長伐期	537
アカマツ長伐期	43
ケヤキ長伐期	4
その他人工林	41
保護樹帯	465
スギ・ヒノキ複層林	217
天然林長伐期	65
天然林広葉樹	988
しいたけ原木	293

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ	2,543	89,138 (891)	91,681				
自然維持タイプ	—	2,786 (30)	2,786				
森林空間利用タイプ	—	938 (7)	938				
快適環境形成タイプ	—	—	—				
水源 涵養 タイプ	スギ・ヒノキ普通伐期	799,534	22,521	822,055			
	スギ長伐期	34,899	849,739	884,638			
	ヒノキ長伐期	—	566,563	566,563			
	スギ・ヒノキ複層林	166,307	16,091	182,398			
	天然林広葉樹	580	—	580			
	計	1,001,320	1,454,914 (13,527)	2,456,234			
合 計	1,003,863	1,547,776 (14,455)	2,551,639	105,361	2,657,000	—	2,657,000
年 平 均	200,773	309,555 (2,891)	510,328	21,072	531,400	—	531,400

() は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
宮 崎 市	272,487	406,962	679,449				
都 城 市	388,109	189,729	577,838				
小 林 市	407,333	451,425	858,758				
えびの市	51,722	164,847	216,569				
三 股 町	13,843	25,818	39,661				
高 原 町	16,280	14,551	30,831				
国 富 町	30,914	64,501	95,415				
綾 町	21,555	31,563	53,118				

注 臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ ^{かん} タイプ [°]	合 計
人 工 造 林	単層林 造 成	3.46	—	—	—	1,670.95	1,674.41
	複層林 造 成	—	—	—	—	265.73	265.73
	計	3.46	—	—	—	1,936.68	1,940.14
天 然 更 新	天然下種 第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種 第2類	—	—	—	—	2.47	2.47
	ぼう芽	—	—	—	—	5.85	5.85
	計	—	—	—	—	8.32	8.32
合 計		3.46	—	—	—	1,945.00	1,948.46

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ [°]	自然維持 タイプ [°]	森林空間 利用タイプ [°]	快適環境 形成タイプ [°]	水源涵養 タイプ ^{かん} タイプ [°]	合 計
保 育	下刈	66.27	—	—	—	5,748.44	5,814.71
	つる切	22.70	—	1.16	—	997.64	1,021.50
	除伐	25.38	—	4.90	—	1,407.46	1,437.74
	枝打	—	—	—	—	167.53	167.53
	ぼう芽整理	—	—	—	—	—	—
	計	114.35	—	6.06	—	8,321.07	8,441.48

3 林道の整備に関する事項

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	開設	内海林道	宮崎28	600	
		桂谷林道(田野側)	宮崎65、66	1,650	
		楠見202林道	宮崎201、202、242	2,200	
		仁田尾242林道	宮崎242	1,200	
		大川原林道	宮崎2139	500	
		三つ石林道	宮崎2003~2005	1,900	
その他	開設	本田野58林道	宮崎58~61	1,200	
		黒草林道	宮崎69、70	600	
		鱈頭75林道	宮崎75、76	1,500	
		鱈頭77林道	宮崎77	1,000	
		本田野61林道	宮崎54~61	1,000	
		鹿野林道	宮崎208~210	650	
		楠見225林道	宮崎224~225	1,400	
		楠見229林道	宮崎227~229	1,200	
		去川263林道	宮崎262~264	2,200	
		庄府3078林道	宮崎289、3078	400	
		多羅原1081林道	宮崎1081	600	
		茶臼岳2164林道	宮崎2164、2171	500	
		尾谷2151林道	宮崎2151、2152	2,000	
		内山2007林道	宮崎203、2007、 2011、299、 308、309	1,000	
		柚園2048林道	宮崎2048	1,200	
		柚園2061林道	宮崎2056、2061	600	
大森岳2107林道	宮崎2107、2109	1,450			

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	柚園2109林道	宮崎2109	750	
		重永2118林道	宮崎2118	1,200	
		軍谷2020林道	宮崎2020、2021	2,100	
		軍谷2024林道	宮崎2021～2024	400	
		九々瀬3030林道	宮崎3030	800	
		夏木2031林道	宮崎2029～2032	1,300	
		夏木3028林道	宮崎3028	600	
		重永2084林道	宮崎2084	400	
		夏木2037林道	宮崎2037、2038	1,700	
		夏木2040林道	宮崎2040、2090	400	
		九々瀬3033林道	宮崎3031～3033	1,600	
		奈佐木3053林道	宮崎3052、3053	1,200	
		宮崎署開設計	35路線	39,000	
基幹	開設	太郎田辺8林道	都城8	1,000	
		大丸林道	都城28、30	500	
		六十田林道	都城51	1,000	
		井手谷林道	都城66、67	2,000	
		東折田代林道	都城256	2,000	
その他	開設	田辺20林道	都城20	1,100	
		四家林道	都城26、27	3,000	
		十二鹿倉林道53支線	都城53	1,000	
		青井嶽56林道	都城56	1,200	
		青井嶽58林道	都城58	4,000	
		東嶽70林道	都城70	3,000	

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	東嶽72林道	都城72	3,000	
		轟木81林道	都城80、81	2,000	
		柴立98林道	都城98	1,400	
		豊満鹿倉102林道	都城102	1,500	
		安久鹿倉107林道	都城107	1,000	
		長尾222林道	都城222	2,000	
		霧島247林道	都城247	2,500	
		川間林道	都城257	1,000	
		中山林道	都城268	3,000	
		青井嶽1104林道	都城1110、1102、 1104	4,000	
		青井嶽1105林道	都城1105	2,000	
		五十山林道	都城1109	2,000	
		大平2002林道	都城2002	2,000	
		大平2005林道	都城2005	2,000	
		坂ノ下2010林道	都城2010	2,000	
		山ノ口2039林道	都城2039	2,500	
		山ノ口2043林道	都城2043	2,000	
		山ノ口2044林道	都城2044	2,000	
		長尾2082林道	都城2082	3,000	
		猪之尾2086林道	都城2085、2086	1,500	
		猪之尾2088林道	都城2088	2,000	
		雛守2099林道	都城2099	2,000	
定木2101林道	都城2101	2,000			
雛守2103林道	都城2104、2105	3,000			

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	鉄山3036林道	都城3036	2,000	
		大河平3040林道	都城3040	2,000	
		黒鹿3067林道	都城3067	1,500	
		都城支署開設計	39路線	76,700	
基幹	改良	小内海林道	宮崎4	500	舗装
		野島林道	宮崎6	500	舗装
		内海林道	宮崎13	500	舗装
		上郷良林道	宮崎18	400	舗装
		加江田林道	宮崎26	300	橋梁、舗装
		桂谷林道	宮崎53	200	舗装
		楠見林道	宮崎203	500	舗装
		楠見林道21支線	宮崎220	100	モルタル吹付
		仁田尾林道	宮崎231	500	舗装
		和石林道	宮崎263	200	舗装
		去川林道	宮崎267	100	モルタル吹付、ブロック積
		桑俣林道	宮崎307、310	700	ブロック積、舗装
		靱木林道	宮崎1087	100	モルタル吹付、ブロック積
		大森岳林道(竹野側)	宮崎2094	100	モルタル吹付、ブロック積
		北浦林道	宮崎2135、2142	200	モルタル吹付、ブロック積
		北浦林道140支線	宮崎2141	100	モルタル吹付、ブロック積
		大川原林道	宮崎2153	500	舗装
		茶臼岳林道	宮崎2157	100	モルタル吹付
		八重尾林道	宮崎2172、2173	500	橋梁、舗装
		横谷林道	宮崎3061	100	舗装
	宮崎署基幹改良計		6,200	23箇所	

基 幹 ・ その他別	開 設 ・ 改良別	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
基 幹	改 良	太郎田辺林道	都城9、10	400	舗装外
		岩屋ヶ野林道	都城30、31	800	舗装外
		有水林道	都城38	800	舗装外
		三十山林道	都城49	1,000	舗装外
		十二鹿倉林道	都城60	300	舗装外
		野々宇都林道	都城68、70、72	1,000	舗装外
		轟木林道	都城89、90	200	舗装外
		花谷林道	都城91	500	舗装外
		高畑林道	都城98	500	舗装外
		豊満鹿倉林道	都城102、104	600	舗装外
		長尾林道	都城223	1,000	舗装外
		小池林道	都城226	500	舗装外
		荒襲林道	都城237	700	舗装外
		権現林道	都城259	1,000	舗装外
		永久井野林道	都城2003	400	舗装外
		第二山代林道	都城2046	200	舗装外
		巢之浦林道	都城2107	500	舗装外
		夷守林道	都城2113	500	舗装外
		松ヶ平林道	都城3024	500	舗装外
		鉄山林道	都城3035	500	舗装外
		鉄山林道内山支線	都城3036	300	舗装外
		満谷林道	都城3053	1,000	舗装外
		満谷林道（白鳥側）	都城3057	300	舗装外
作鹿倉林道	都城3066	1,000	舗装外		

基幹 ・ その他別	開設 ・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	矢岳林道	都城4046	2,000	舗装外
		都城支署基幹改良計		16,500	37箇所
その他	改良	内海林道14支線	宮崎15	100	モルタル吹付、ブロック積
		仁田尾林道35支線 36分線	宮崎237	300	ブロック積、 舗装
		黒草林道	宮崎71	100	ブロック積、舗装
		去川林道53支線	宮崎254	100	ブロック積、舗装
		田代ヶ八重林道117支線	宮崎2117	100	橋梁、ブロック積
		楠谷林道	宮崎305	500	舗装
		重永林道	宮崎2077	100	ブロック積、舗装
		夏木林道	宮崎2081	200	ブロック積、舗装
		軍谷林道	宮崎3056	100	舗装
		長谷林道	宮崎2034	200	舗装
		堂屋敷林道	宮崎2087	500	舗装
		倉谷林道	宮崎2083	100	ブロック積
		北浦林道140支線 143分線	宮崎2141	100	モルタル吹付、ブロック積
		宮崎署その他改良計		2,500	13箇所
		田辺林道	都城1	600	舗装外
		田辺林道中通支線	都城4	500	舗装外
		太郎田辺林道11支線	都城11	200	舗装外
		太郎田辺林道16支線	都城12	300	舗装外
		池宇都林道	都城21	200	舗装外
		平八重林道	都城23	200	舗装外
雀ヶ野林道	都城24	200	舗装外		

基 幹 ・ その他別	開 設 ・ 改良別	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長 (m)	備 考
その他	改 良	有水 2 林道	都城37	300	舗装外
		十二鹿倉林道59支線	都城59	200	舗装外
		佐渡ノ元林道63支線	都城62	200	舗装外
		花谷林道92支線	都城92	200	舗装外
		星塚林道	都城202	200	舗装外
		山下林道	都城204	200	舗装外
		霧島林道	都城241	300	舗装外
		轟林道278支線	都城278	200	舗装外
		轟林道281支線	都城281	200	舗装外
		東折田代林道 東折田代支線	都城256	300	舗装外
		飛松林道宇名目支線	都城1095	300	舗装外
		飛松林道1098支線 1099分線	都城1100	500	舗装外
		飛松林道宇都頭支線	都城1102	200	舗装外
		妙寺ヶ谷林道	都城1105	700	舗装外
		中山林道37支線	都城2037	200	舗装外
		中山林道	都城2038	400	舗装外
		夷守林道112支線	都城2114	500	舗装外
		夷守林道117支線	都城2117	500	舗装外
		環野林道	都城2121	500	舗装外
		四ッ谷林道	都城3012	200	舗装外
		上四ッ谷林道	都城3014	300	舗装外
		都城支署その他改良計		8,800	30箇所
	開 設			115,700	74箇所
改 良			34,000	103箇所	

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量 (箇所数又は面積)
宮崎 26、35、49、53、65、80、201、203、204、208、 211、213、215、217、219、223、233、234、 243、245、264、265、267、277、289、2011、 2014、2036、2049、2053、2069、2073、2085、 2090、2105、2155、2164、3066、3072、3074、 4016～4019、4023～4027 都城支署 1～8、10～12、14、16、18、19、22～30、 33～39、47、49、53～56、58～64、66、68、69、 73～77、79～81、84～97、99、100、202～212、 214、216、217、220～224、227、233、234、 237～243、246～248、250、251、253、 255～257、267～271、276～281、1098、1103、 1104、1106、1107、1109、1110、1247、1248、 2001、2004～2009、2011、2034～2047、 2084～2091、2095、2096、2101、2103～2107、 2109～2114、2118、2121、2122、3001～3004、 3006、3008～3012、3014、3015、3017、3019、 3022、3023、3025、3029～3034、3036、3037、 3043、3052、3053、3056～3061、3065～3069、 4030～4033、4038、4058、	保安林整備	本数調整伐	1,018ha 500 518
宮崎 4～6、9、10、12～14、23、27、42、57、60、 65～70、73～77、79、203～205、267～271、 273、279、286～288、290、298、300、301、 1083、1087、1090、2001、2006、2010、2011、 2023、2034、2035、2037、2048、2049、2077、 2084、2086、2088、2094、2100、2107、2113、 2114、2123～2126、2133、2134、2157、2158、 2160、2161、3056、3063、3069～3074、3078、 3123 都城 10、29、34、64、65、70、79、82、85、88、 96、98、99、204、206、224、227～230、 233～235、238、247、252、257～259、262、 267、268、1100、1105、2083、2088、2094、 2099、2100、2101、2103～2105、2107～2114、 2117～2121、3008、3009、3054、3057	保全施設	溪間工	101箇所 41 60
宮崎 10、13、65、66、70、73、76、77、288、2035、 2084、2094、2113、2123～2126 都城 79、83、86、92、94、99、247、261、262、2095、 2096、2105、2109、3017、3022、3030、3036、 3042、3056、4032	保全施設	山腹工	26箇所 6 20
計	保安林整備		1,018ha
	保全施設		127箇所

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	綾	既設	保存地区 674.00	宮崎2042ほ2、ち～ぬ 2043ほ 2044に、に1、 に3、ほ 2045は、ほ～ち、 ぬ～わ 2046ろ、と 2091た、ヌ 2092い～に、ハ 2093い～は 2094い、と、ニ	宮崎県の綾川上流域に残された原生的な照葉樹林は、日本一の規模を誇るとされ、局型的な植生を有する区域では、照葉樹林を象徴する森林相観を有しており、常緑のブナ科樹木のほとんどの種が分布し、高等植物は約800種以上に及んでいる。 また、照葉樹林の高木構成種25種のうち24種が生育しており、植生の垂直分布が見られるとともに、貴重な動植物の分布域であり、学術的に高い価値と希少性を有している。
			保全利用地区 493.47	宮崎2042へ、と 2044ろ、ろ1、は、 に2、に4、ほ1、 ち 2045い、い1、ろ、 ろ1、は1、は2、 に～に5、 り～り2、る1、 か、よ 2046い、は、は1、 に、ほ、へ、 と1、ち 2047に、に2、と、 と1、ち、ち1 2091い1、ろ、と2、 ち～よ 2094ろ～ほ、ほ1、 へ、へ1、 ち～ち4、り、 ぬ、る、る1、 わ～わ4、か、 か1、よ 2095ほ2～ほ4、 へ、と2、ち8、 ち10、り1 2096は1、に1	
	計		1,167.47		

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
生物 群集 保護林	霧島山	既設	保存地区 4,449.39	都城225 (全) 226い、ろ～ろ5、 は、に、ほ、 へ～へ4、と、 と1、ち～ち5、 ぬ、ぬ1、る、 わ1、そ、そ1、 つ、ね、む、 う、お、く、 や～や2、 ま～ま2、け、 ふ、ふ1、 こ～あ、 イ～ホ、 へ、へ1、ト、 チ、ヌ、ワ 227い 228い 229ち 230ろ 282は～つ、 イ～ニ 2082い～は、 イ～ハ、ホ 2083い～か、 イ～ト 2084い、ろ、ね 2086た 2087ろ～に、イ、 ロ、ニ、ホ 2088ぬ、る、ホ 2089れ、れ1 2092ほ 2093は～へ 2094は～へ、 ニ～へ 2095り 2100に、に1、ほ 2104に～と 2105ち、ち1 2106と、と1 2107る、わ、わ1 2108は、に、に1 2109へ、と、と1 2110り 2111に、ほ、ほ1 2112へ、へ1、と 2113は、は2～へ 2114ぬ～わ 2115ち～よ 2116る～か、イ	霧島山は日本列島の南 端に位置し、最高峰「韓 国岳」の標高1,700mから 低地まで、霧島山塊は数 十万年前に形成されたも のから数千年前の火山活 動によってできたものま でと活動時期に幅がある ため火山活動後の経過時 間によって違いがあり、 森林・草原・荒原状等と いった植生遷移の各段階 に応じた多様な植物の分 布がみられる。 霧島山は「キリシマ」 を冠とする植物が数多く、 この中には。キリシマミ ツバツツジやキリシマタ ヌキノシヨクダイなどの 霧島山固有種が生み出さ れており、ミヤマキリシ マの大群落、えびの高原 のノカイドウ、赤松千本 原と呼ばれるアカマツの 巨木林及び甕岳の照葉樹 林等、日本の重要な植物 群落を形成している。

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
生物 群 集 保 護 林	霧島山	既設		2117う～お 2118お～や 2120と～か 2121よ、た 2122ぬ、ぬ1 3052ぬ、ね～ら 3053く、や 3054そ 3055い～よ、 イ～ヌ 3056に 3057こ、こ4、あ、 さ、ひ 3058け 3061ま 3062ぬ、る 3063と、ち 3064ほ、へ	
	掃部岳	既設	保存地区 182.92	宮崎2163は～へ 2170(全)	掃部岳周辺の森林は、日本の温暖の夏緑広葉樹を代表するブナ林が実質的な南限として、暖温帯の常緑広葉樹林であるヤブツバキクラスの森林の中にかろうじて生き残っている点で極めて重要である。このブナ林が生育する掃部岳山頂周辺のシラキーブナ群集、尾根や岩角地にはアケボノツツジーツガ群集、標高800以上の雲霧帯におけるミヤマシキミーアカガシ群集及びそれに着生するコケ類・シダ類がみられるなど西日本の自然を代表する極めて重要な自然生態系を呈している。

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
生物 群 集 保 護 林	大森岳	既設	保存地区 373.44	宮崎2049と、と1 2050い1、い2 2051い～い2、ろ1 2097と、ち～り 2098に～へ 2099ほ～ほ2、へ2、 と～と2、ぬ、 た 2100ぬ、か、れ 2101る、わ	大森岳周辺の森林は、日本の暖温帯の常緑広葉樹林であるヤブツバキクラスを大面積に残す地域で、上部からコガクウツギーモミ群集、イスノキーウラジロガシ群集、ルリミノキーイチイガシ群集と移行し、アラカシ林やホソバタブ林の他、ブナ林要素のサワグルミやカツラの優先する林分、イヌブナの混生するカシ林、ハナガガシの優先する林分等様々なタイプの森林植生や多くの照葉樹林構成要素の種が見られ多様性に富んでいる。 また、降水量、気温との関係で空中及び土壌中の湿度が高く、その結果、他の森林では見られないほどフウラン、ナゴランなどの多様な着生植物や林床植物が生育するなど、温帯モンスーン域の照葉樹林として西日本の自然を代表する極めて重要な自然生態系を呈している。
	計		5,005.75		
希 少 個 体 群 保 護 林	双石山	既設	66.22	宮崎46か、た	ツブラジイ、タブノキの遺伝資源の保存。
	青井岳	既設	1.01	都城1110お	カヤの遺伝資源の保存。
	八久保	既設	8.21	宮崎202と	イチイガシの遺伝資源の保存。
	蜷 尻	既設	59.14	宮崎228は、に、に1	シイ、カシ類の常緑広葉樹林にイヌマキの貴重樹が点在する高齢級の天然林並びにこのイヌマキ、イチイガシ、ツブラジイ、スダジイ、イスノキの遺伝資源の保存。
	楠 見	既設	4.70	宮崎235と	イチイガシの遺伝資源の保存。

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
希少 個体 群保 護林	重永	既設	7.38	宮崎2082た	常緑広葉樹と落葉広葉樹が混交する120年生以上の天然林であり、主要樹種のカヤ、ケヤキ、ミズメ、ウラジロガシ、イロハカエデの遺伝資源の保存。
	四家	既設	1.97	都城16ち 17ち	イチイガシ人工林の植物学的考証。
	計		148.63		

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	既設 新設	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
綾川上流緑の 回廊	既設	5	2,269.54	宮崎2095い～ほ1、と、 と1、ち～ち7、 ち9、り～る、 ハ 2096い～ほ、ハ 2097い、い1、ろ、 は～は2、に、 に1、ほ～ほ3、 へ～へ6、と1、 り1、ぬ 2098い、い1、ろ、 は、へ1、 と～り 2099い～は、 に～に2、へ、 へ1、ち、ち1、 り、る、る1、 わ、か、よ、 れ、そ 2100い～は、 に～に2、 ほ～と、 ち、ち1、り、 る、る1、わ、 か1、よ、た 2101い、ろ、ろ1、 は、は1、 に～へ、と、 と1、ち、り、 ぬ、ぬ1、イ、 ハ 2121 (全) 2122 (全) 2134 (全) 2135 (全) 2136 (全) 2137 (全) 2142 (全) 2143 (全) 2163い～ろ3、と 2169 (全)	掃部岳生物群集保護 林、大森岳生物群集保 護林、綾森林生態系保 護地域及びてるは郷土 の森を連結して、照葉 樹林の連続性を確保す ることにより、森林生 態系の一層の保護・保 全を図り、貴重な野生 動植物の広域化や相互 交流に資する等、生物 多様性確保の観点から、 より広範で効果的な保 全を図る。
			2,269.54		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
自然観察教育林	霧島	既設	95.16	都城 225に、と、 り 2083ち、ち1	霧島錦江湾国立公園内であり、自然環境が厳正に保存されており、御池及び小池を中心として、その周辺に広がる天然林の森林美、また、これら森林内に生息する野鳥の生態観察等に利用されている。	育成複層林へ導くための施業	九州自然歩道、御池野鳥の森御池キャンプ場、	無	
				都城 225い、ろ、 ち、よ 226、いぬ、 ぬ1 2083と		天然生林へ導くための施業			
都城 226イ 2083ロ、へ	林地以外の土地								
		計	95.16						
野外スポーツ地域	一ツ葉	既設	211.37	宮崎 94い～に へ～ぬ2	一ツ葉国有林の保安林212haが、ヒューマン・グリーンプランとして利用されている。 野鳥の森、ふれあいの森、遊園地、野外スポーツの森等の整備が進められている。	育成複層林へ導くための施業	森林公園	東屋	
				宮崎 94ほ		天然生林へ導くための施業			
宮崎 94イ～チ	林地以外の土地								
		計	211.37						
風景林	北霧島	既設	233.64	都城 3055い、 は～ほ ぬ、よ	霧島錦江湾国立公園内の、えびの高原の一角に位置し、キシマアカマツを主体に、モミ、ツガ、コナラ等が混交する天然林で、霧島山岳自然公園における風致景観の要をなしており、キャンプ、林内散策等の大衆的な利用がなされている。	天然生林へ導くための施業	休憩所 遊歩道 駐車場	無	
				都城 3055り、ヌ		林地以外の土地			
			233.64						

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
風致探勝林	御池	既設	113.27	都城 226ろ～と、 ち、ち2、 ち4、ち5、 か1、れ、 お、 や～や2、 ふ、ふ1、 こ、え 2082い、は 2083は	霧島錦江湾国立公園内であり、火口湖の御池とその周辺を囲むカシ、シイ類等の天然生広葉樹林が生み出す森林美と自然景観に優れ、自然観察教育林と併せ親しまれている。	育成複層林へ導くための施業	御池野鳥の森御池キャンプ場、歩道休憩所	無	
				都城 226へ3、と1、 ち1、ち3、 く、ま～ け 2082ろ 2083い、ろ、 に、ほ、 へ、か 2084い、ろ		天然生林へ導くための施業			
			113.27	都城 226ロ～へ1、 ワ 2082イ、ロ、 ハ、ホ 2083イ、 ハ～ホ、 ト		林地以外の土地			
自然休養林	宮崎	既設	自然観察 教育ゾ ン 412.05	宮崎 29は 30と 46よ	主要地点からの展望は出来ないが、風致的には優れている。風致的な配慮をしながら木材の供給も行っていく。	育成単層林へ導くための施業	森林公園、遊歩道、多目的広場	無	
				宮崎 29い 30い、ろ 31い、は、に、 へ、り、 る～か 32い、は、に 35い～は、よ、 つ 39い、に、ほ 40い 41い～に 46い、は、に、 へ～り		育成複層林へ導くための施業			
				宮崎 31ろ、ほ、と、 ち、ぬ 32ろ 35ほ、か、た 40ろ～ほ 46ろ、ほ		天然生林へ導くための施業			

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
自然休養林	宮崎	既設	森林スポーツゾーン 96.95	宮崎 30は、に 39と 40へ、と1、 り	加江田川溪谷の森林美等、キャンプ場、森林スポーツ場として利用されている。	育成複層林へ導くための施業			
				宮崎 29ろ1、に 30ち 39ろ1、り 40と、ち、 ぬ		天然生林へ導くための施業			
				宮崎 30イ 31イ、ロ 39イ 40イ～ニ		林地以外の土地			
			風景ゾーン 600.84	宮崎 30へ 33わ、か 41と 46ぬ	加江田川上流の溪谷と森林美に加え、奇岩絶壁からなる双石山を配する地域でピクニック、自然探勝等に利用されている。	育成複層林へ導くための施業			
宮崎 29ろ 30ほ 31よ～そ1、 く、ふ～え 32へ 33ほ～ち、 る 34へ～り 35る、わ、そ 39へ 41ち～る 42い、ろ 46る～か、た	天然生林へ導くための施業								
宮崎 46イ	林地以外の土地								
風致探勝ゾーン 320.05	宮崎 31つ、ね、 む、う、お、 や、け 33は、り 34は 35と、れ、ね 39ち	加江田溪谷美と双石山周辺等いずれも景観上、学術上、重要である。	育成複層林へ導くための施業						

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
自然休養林	宮崎	既設	風致探勝 ゾーン	宮崎 31な、ら、 の、ま、 て 32ほ、ほ1、 と〜り 33い、ろ、 に、ぬ 34い、ろ、 に、ほ 35に、へ、 ち〜ぬ、 な、ら 39ろ、は 41ほ、へ		天然生林 へ導くた めの施業			
				宮崎 35イ 39ロ		林地以外 の土地			
		計	1,429.89						
その他		既設	1.55	宮崎 2041ハ 2043イ 2044イ 2171イ	レクリエーショ ンの森施設敷	林地以外 の土地		無	
				1.55					
		計	2,084.88						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

名 称	区 域 (林小班)		面積 (h a)	森林施業 の種類	林道の 開設等	設定年及び 有効期限	備考
該当なし	民						
	国						

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年度	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
試験地	本田野収穫試験地	S9	4.21	宮崎65は、は1	ヒノキ
	夏木収穫試験地	S11	4.29	宮崎2035ち	ヒノキ
	森林利水試験 (固定試験地)	S32	25.61	宮崎261へ、と、 と1 264と、ち	
	常緑広葉樹林の育成 (固定試験地)	H4	109.00	宮崎2093い、 ろ	L
	ケヤキ育成試験地	H9	0.71	都城4048い11	ケヤキ
	魚骨状針広混交林の 造成技術の開発	H10	4.84	都城1099ろ1、 ろ3、ろ5、 ろ6	スギ外
	マツノザイセンチュウ抵抗性苗 の現地適応試験	H11	0.28	宮崎94わ1	クロマツ
	マツノザイセンチュウ抵抗性苗 の現地適応試験	H11	1.00	都城2095は4	アカマツ
	クヌギの試植検定林の造成	H12	0.61	宮崎64わ2	クヌギ
	マツノザイセンチュウ抵抗性苗 の現地適応試験	H12	1.16	都城2089わ5	アカマツ
	スギザイノタマバエ抵抗性苗の 現地適応試験	H15	0.22	都城4048い14	スギ
	宮崎広葉樹モデル採種園 (タブ ノキ・ケヤキ)	H17	0.40	宮崎234い8	タブノキ、 ケヤキ
	暖温帯有用広葉樹人工林試験地 (シイ・カシ類の成長特性の解明)	H18	3.72	宮崎263は	イチイガシ 外11種
	コスト1/2を目指した誘導伐 システム (帯状伐採による 複層林施業) の開発	H19	5.28	都城1099ろ19	スギ
	低密度植栽試験地	H26	2.00	宮崎232ち3	スギ、ヒノキ
常緑広葉樹二次林試験地	H26	1.00	宮崎228に1	常緑広葉樹類	
次代検定林	九熊本第80号	S56	1.50	宮崎286り	ヒノキ
	九熊本第89号	S59	1.50	宮崎7か1	スギ
	九熊本第93号	S60	1.50	宮崎242ろ2	スギ

種 類	名 称	設 定 年 度	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	九熊本第106号	H元	1.00	宮崎206つ2	スギ
	九熊本第94号	S60	0.75	宮崎2087か	ヒノキ
	九熊本第102号	S63	0.97	宮崎2035ほ4	スギ
	九熊本第46号	S50	1.00	宮崎213め	ヒノキ
	九熊本第10号	S45	1.40	宮崎2172ろ	スギ
	九熊本第150号	H16	0.74	宮崎63わ2	スギ
	九熊本第137号	H9	0.77	宮崎63い	スギ
	九熊本第129号	H7	0.56	宮崎2156ろ1	スギ
	九熊本第149号	H16	0.17	宮崎63わ2	スギ
	九熊本第62号	S52	0.48	都城52と2	ヒノキ
	九熊本第87号	S58	1.50	都城24な	ヒノキ
	九熊本第90号	S59	1.50	都城270け4	ヒノキ
	九熊本第64号	S53	1.30 0.20	都城3057り1 3057り3	スギ スギ
	小林スギ2種(第1試験地)	S42	0.72	都城2090わ1	スギ
	九熊本第21号(第1試験地)	S47	0.72	都城2082か	スギ
	九熊本第21号(第2試験地)	S47	0.72	都城2108わ	スギ
	九熊本第21号(第3試験地)	S47	0.72	都城2118い2	スギ
	九熊本第43号	S50	1.11	都城206か2	スギ
	九熊本第124号	H5	0.76	都城3058へ11	スギ
	九熊本第125号	H5	0.63	都城3058へ12	スギ
	九熊本第114号	H3	1.00	都城2101る3	スギ
	九熊本第136号	H9	0.73	都城2111れ4	スギ
	九熊本第145号	H15	0.50	都城3006か2	スギ

種 類	名 称	設 定 年 度	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代検定林	九熊本第153号	H17	0.91	都城49る1	ヒノキ
	九熊本第155号	H18	0.39	都城2117た5	スギ
	九熊本第162号	H23	0.24	都城3017ほ1	スギ
遺伝子保存林	小林署キリシマアカマツ	S36	3.31	都城2116ち1	アカマツ
	小林署ヒノキ	S38	2.14	都城2010い2	ヒノキ
	ヒノキ小林署字真方第2号	S45	2.70	都城2002ろ3	ヒノキ
施業指標林	天然林施業指標林	H元	7.82	宮崎2001は6	アカガシ
	天然林施業指標林	H14	1.66	都城240ぬ	ケヤキ、クワ
	複層林施業指標林	H元	1.38	宮崎2156い	スギ、ケヤキ、カヤ
	複層林施業指標林	S62	2.84	都城2118い、 い4、い6	スギ、ヒノキ、ケヤキ、 イチイガシ
	間伐施業指標林	S60	6.14	宮崎2036そ	スギ、ヒノキ
	間伐施業指標林	S62	3.00	宮崎233い1	スギ
	間伐施業指標林	H元	4.90	都城2114よ	スギ
	間伐施業指標林	S61	5.80	都城86ほ	スギ、ヒノキ
展 示 林	品種別展示林	S44	2.00	宮崎53ち	スギ
	品種別展示林	S44	1.84	宮崎292ぬ	スギ
	品種別展示林	S42	1.02	宮崎2075に1	スギ
	品種別展示林	S43	0.98	宮崎2115わ1	スギ
	品種別展示林	S43	2.44	都城8い5	スギ
	品種別展示林	S43	1.70	都城216ろ1	スギ
	品種別展示林	S44	1.60	都城2082ほ1	スギ
	品種別展示林	S42	1.85	都城3057は	スギ
森林施業 モデル林	鱒塚山国土保全モデル林	H12	2.02	宮崎67わ	
	七瀬谷土砂流出防止モデル林	H12	3.73	都城29に	
溪 畔 保 全 プロジェクト林	黒北川支流	H29	4.72	宮崎202い1、 は1、に1 、ぬ5、 わ1、か1、 よ1	

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備考
宮崎94い	ふれあいの森	平成18年7月23日協定 日本労働組合総連合会宮崎県連合会
宮崎94ぬ1	ふれあいの森	平成13年8月22日協定 石崎浜ふれあいの森ボランティア推進会議
宮崎213な～う、 214は～と、215わ	遊々の森	平成18年6月16日協定 NPO法人ひむかの里山自然塾
宮崎219い～ぬ2、か、か1、 む～お	遊々の森	平成15年6月30日協定 宮崎市長
都城259へ、か～た 260ち、261ぬ	遊々の森	平成17年6月6日協定 社会福祉法人ユニバースアカデミー

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位置（林小班）	面積(ha)	施業方法
宮崎67ら 94る、わ、か、よ、た 2155い、い1、は～は3、に～に4、へ～へ3、 と～と4、ち、る、る2、か 2164ほ、ぬ、ぬ2、ぬ3、る 都城207よ1 226り1、た1 227と 228ぬ、か、れ1 233わ、か2、な 237り5 238は3、は4 240い、は、に1～に4、ち、ち1 243に、に2、へ、ち、ち1、わ、か～か2、つ、 つ1 253い、い1、ろ、ろ2、ろ3、は、 2118い1、い5、い7、と～と10、と12、と13、そ、 ね、な 2119わ、か、そ、そ1、つ～つ6 2120は、に、そ1、ら、ら1、む、の、け 2121に2、に5、と1、ぬ、わ、わ2、な～な3、 ら1 3011ね、な、な1 3016と1 3017い 3057い、ろ、に2～に4、ち1、ち2、り4、か1、 む1、う1、お、く2	327.78	育成複層林へ導くための施業

位 置 (林 小 班)	面積(ha)	施 業 方 法
都城3058へ3、へ4、と1、と2、ち、り～り5、ぬ、 る1、わ、れ、そ、ね、ね1、な、ら～ら2 3060ふ、ふ2、え 3061う 3062り		育成複層林へ導くための施業
宮崎67れ、む、う 68る、か～か2、よ 70ら 206ち 238い 255ぬ 2155ろ、ろ1、ほ、り、る1 2164わ、か、た 都城207か、よ、そ 226た 227へ、り1 228る、よ1 233と、と1、ぬ、る2、る4、る8～る10、か1、 ね 236は、は1 237る2、わ、わ1、よ、た、れ1、ね、ね1、な、 ら 238ろ1、へ1、と、と1、ち、り 240ろ、に、に5、ほ～ほ3、へ、り、り1、わ 243い～い2、ろ1、ろ2、は、は2、は4、に1、ほ、 ほ1、と、と1、り、ぬ、る、る1、わ1、た、 れ、そ 251よ、よ1 253に、に1、の1、く、や2 1101ら 1102に 1103と 2117ろ2、と、と1 2118い3、は、に、と11、と14、ち、ち1 2119た、な、ら 2120ろ、う 2121ち1、る、そ、そ1、ら 3009ほ 3011へ、と、わ 3057た1、な1、く 3058わ1、た、た1 3059よ1 3060う1、ふ1、え1、て1 3061か2、む4 3062ち	387.35	天然生林へ導くための施業

位 置 (林 小 班)	面積(ha)	施 業 方 法
宮崎39ハ 68ハ 70ロ、ハ 206ニ 212イ 222イ 228イ、ロ 255ロ 2042イ、ハ 2043ロ 2155イ、ロ、ハ、ニ 都城233イ 236イ 237イ 243イ 253イ、ニ、チ、リ 1101イ、ハ、ニ 1103ロ、ニ、ホ、ト、リ 2118イ 3010イ 3011ロ、ハ、ニ、ホ、へ、ト 3016ニ、ホ、へ 3017イ 3057イ、ロ、ハ、ニ 3058イ、ロ、ハ、ニ、ホ、へ、ト、チ、リ	54.56	林地以外の土地
計	769.69	

注 ふれあいの森その他森林空間利用タイプに設定している施業指標林、試験地等を除く。

(4) 森林共同施業団地

名 称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
北諸県・田野地域 森林整備推進協定	民	2,431	間伐の実施 間伐材の販売 路網の整備	
	国	2,726		
綾地域森林整備推 進協定	民	1,302	間伐の実施 間伐材の販売 路網の整備	
	国	956		

そ の 他 附 属 資 料

1 国有林野の現況

(1) 担当区別の区域及び面積

(単位：ha)

担当区	関係市町村	要 存 置 林 野		不要存置林野面積	官 行 造 林 地 面 積
		面 積	関 係 林 小 班		
内 海	宮崎市	3,112.49	宮崎1～18、20、22～28	0.04	-
計		3,112.49		0.04	-
宮 崎	宮崎市	2,436.84	宮崎29～35、39～42、45～52、94	3.96	68.33
計		2,436.84		3.96	68.33
田 野	宮崎市	3,559.22	宮崎53～78、83、84、88	0.50	-
計		3,559.22		0.50	-
屋 敷	宮崎市	3,142.60	宮崎79～82、85～87、201～216、239～245	0.04	-
計		3,142.60		0.04	-
高 岡	宮崎市	4,090.46	宮崎217～238、252～269	0.73	-
計		4,090.46		0.73	-
内 山	小林市	2,889.03	宮崎288～313	-	-
計		2,889.03		-	-
紙 屋	宮崎市	127.52	宮崎270	-	-
	小林市	1,544.36	宮崎271～287	0.20	-
計		1,671.88		0.20	-
綾	小林市	1,909.74	宮崎2001～2004、2047～2053、2057～2059	-	-
	綾 町	862.92	宮崎2041～2046	-	-
計		2,772.66		-	-
竹 野	小林市	2,092.73	宮崎2099と～そ、ロ、ハ、ホ、 ヘ、チ 2100～2102、2121～2127、 2134～2138	-	-
	国富町	105.33	宮崎2153そ～ま1、ロ、ホ	-	-
	綾 町	3,404.26	宮崎2091～2098、 2099い～へ2、イ、ニ、ト 2139～2143、2151、2152、 2153い～れ、け～こ1、 イ、ハ、ニ、ヘ	-	-
計		5,602.32		-	-

(単位 : ha)

担当区	関係 市町村	要 存 置 林 野		不要存 置林野 面積	官 行 造林地 面積
		面 積	関 係 林 小 班		
法ヶ岳	国富町	4,254.51	宮崎1081～1094、2154、 2155い～よ1、イ～ニ、へ 2156～2173	-	-
	綾町	0.79	宮崎2155ホ	-	-
計		4,255.30		-	-
原	小林市	4,009.26	宮崎2005～2008、2010～2021、 2054～2056、2060～2078	-	-
計		4,009.26		-	-
夏木	小林市	3,054.26	宮崎2028～2040、2080～2090 3027～3029	-	-
計		3,054.26		-	-
田代ヶ八重	小林市	3,235.98	宮崎2103～2120、2128～2133	-	-
計		3,235.98		-	-
奈佐木	小林市	2,373.06	宮崎2022～2025、2027、 3030～3034、3048～3065	-	-
計		2,373.06		-	-
野尻	小林市	1,005.19	宮崎3066～3078、3123	-	-
		1,005.19		-	-
木浦木	小林市	1,161.58	宮崎4016～4027		
		1,161.58			
宮崎署の合計		48,372.13		5.47	68.33

(単位：ha)

担当区	関係 市町村	要 存 置 林 野		不要存 置林野 面 積	官 行 造林地 面 積
		面 積	関 係 林 小 班		
四 家	都 城 市	2,959.55	都城1～14、16～27	0.13	-
計		2,959.55		0.13	-
高 城	都 城 市	2,591.46	都城28～52	-	-
計		2,591.46		-	-
山 之 口	都 城 市	2,728.76	都城53～77	-	-
計		2,728.76		-	-
三 股	三 股 町	1,782.51	都城78～93	-	-
計		1,782.51		-	-
中 郷	都 城 市	791.86	都城102～109	-	-
	三 股 町	1,011.64	都城94～101	-	-
計		1,803.50		-	-
高 崎	都 城 市	1,943.52	都城202～207、267～273、 276～281	-	-
計		1,943.52		-	-
山 田	都 城 市	2,394.57	都城208～217、219～228、 240～243、247	-	-
計		2,394.57		-	-
西 岳	都 城 市	3,342.67	都城229～231、233～239、246、 248～266、282	0.69	-
計		3,342.67		0.69	-
青 井 岳	都 城 市	2,319.00	都城1095～1111、1246～1251	0.05	-
計		2,319.00		0.05	-
真 幸	えびの市	2,002.71	都城3001～3011、4030～4033、 4038、4046～4048	0.03	-
計		2,002.71		0.03	-
え び の	えびの市	2,075.93	都城3012～3026、4052、4053、 4058、4061、4062、4064	0.80	-
計		2,075.93		0.80	-
飯 野	えびの市	1,999.29	都城3027～3043、4067	6.93	-
計		1,999.29		6.93	-

(単位：ha)

担当区	関係 市町村	要 存 置 林 野		不要存 置林野 面 積	官 行 造林地 面 積
		面 積	関 係 林 小 班		
白 鳥	えびの市	3,324.80	都城3051～3069	4.74	-
計		3,324.80		4.74	-
北 小 林	小林市	2,806.22	都城2001～2013、2034～2047	0.23	-
計		2,806.22		0.23	-
高 原	小林市	1,314.22	都城2094、 2097ろ1、り、ぬ、る1、 イ、ハ、ホ 2099、2100	-	-
	高原町	2,076.50	都城2079～2093、2095、2096、 2097い、ろ、は～ち、り1、 ぬ1、る、ロ、ニ、ハ、 ト 2098、2101	3.13	
計		3,390.72		3.13	-
西 小 林	小林市	2,946.47	都城2102～2118 2120い～ち1、ロ	12.15	-
	えびの市	514.99	都城2119 2120り～け、イ 2121、2122	-	-
計		3,461.46		12.15	-
都城支署の合計		40,926.67		28.88	-
合 計		89,298.80		34.45	68.33

(2) 保安林、自然公園等の面積

(単位 : ha)

区分		森林管理署別					
		宮崎		都城支		合計	
保安林	水源かん養保安林		36,221.63		30,659.75	66,881.38	
	土砂流出防備保安林	(50.07)	1,506.62	(616.56)	4,046.32	(666.63)	5,552.94
	土砂崩壊防備保安林	(3.04)		(1.08)	403.68	(4.12)	403.68
	飛砂防備保安林						
	防風保安林						
	水害防備保安林						
	潮害防備保安林		217.94				217.94
	干害防備保安林			(114.11)	6.34	(114.11)	6.34
	防雪保安林						
	防霧保安林						
	なだれ防止保安林						
	落石防止保安林						
	防火保安林						
	魚つき保安林						
	航行目標保安林						
	保健保安林	(1,161.26)	400.05	(3,519.84)	632.67	(4,681.10)	1,032.72
	風致保安林			(29.85)		(29.85)	
計	(1,214.37)	38,346.24	(4,281.44)	35,748.76	(5,495.81)	74,095.00	
保安施設地区							
砂防指定地	(2.01)	1.29	(19.95)	9.64	(21.96)	10.93	
国立公園	特別保護地区			(1,517.88)	8.45	(1,517.88)	8.45
	第一種特別地域			(2,178.05)	8.87	(2,178.05)	8.87
	第二種特別地域			(660.12)	8.97	(660.12)	8.97
	第三種特別地域			(560.25)	31.10	(560.25)	31.10
	地種区分未定特別地域						
計			(4,916.30)	57.39	(4,916.30)	57.39	
国定公園	特別保護地区						
	第一種特別地域						
	第二種特別地域	(300.20)	2.66			(300.20)	2.66
	第三種特別地域	(1,918.06)	30.77			(1,918.06)	30.77
	地種区分未定特別地域						
計	(2,218.26)	33.43			(2,218.26)	33.43	
都道府県立自然公園	第一種特別地域						
	第二種特別地域	(356.03)	1.10	(7.42)	18.09	(363.45)	19.19
	第三種特別地域						
	地種区分未定特別地域						
	計	(356.03)	1.10	(7.42)	18.09	(363.45)	19.19
原生自然環境保全地域							
自然環境保全地域特別地区							
都道府県自然環境保全地域特別地区							
鳥獣保護区特別保護地区	(182.92)		(560.47)		(743.39)		
都市緑地保全法による緑地保全地区							
都市計画法による風致地区							
林業種苗法による特別母樹林							
史跡名勝天然記念物	(66.22)		(48.73)		(114.95)		
種の保存法による管理地区							
その他の制限林							
制限林計	(4,039.81)	38,382.06	(9,834.31)	35,833.88	(13,874.12)	74,215.94	
普通林	国立公園普通地区			(6,079.95)	467.29	(6,079.95)	467.29
	国定公園普通地区						
	都道府県立自然公園普通地区	(1,512.68)	228.37	(1,311.22)	465.48	(2,823.90)	693.85
	自然環境保全地域普通地区						
	都道府県自然環境保全地域普通地区						
	鳥獣保護区普通地区	(4,228.35)	144.86	(6,348.76)		(10,577.11)	144.86
	種の保存法による監視地区						
	その他の法指定地域(普通林)	(247.68)				(247.68)	
普通林計	(5,988.71)	373.23	(13,739.93)	932.77	(19,728.64)	1,306.00	
法指定地域合計	(10,028.52)	38,755.29	(23,574.24)	36,766.65	(33,602.76)	75,521.94	

(3) 林況（林種等別齡級別面積、蓄積及び成長量）

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	総			1			2			級
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	
人工林	N	15,929.901	443,066.1							
	L	1,368.977	19,105.8							
計	51,648.67	17,298.878	462,171.9	655.94		772.98			6,637	
天然林	N		245,009						60,887	
	L	(680.71)	27,771	236.7						
計	680.71	272,780	2,619.1	512.88		76.06			6,637	
天	N		445,448.5							
	L		19,342.5							
計	52,329.38	17,571.658	464,791.0	1,168.82		848.94			6,637	
天然林	N		10,856	787.6						
	L	291.76	10,856	787.6	49.10				46.15	
計		116,036	1,363.3							
天然林	N		275,571	2,706.9						
	L	1,566.21	391,607	4,070.2					3.02	
計		609,669	1,069.1							
竹林	N		5,274.503	43,021.8						
	L	31,473.55	5,884,172	44,090.9	64.65				134.61	
計		725,705	2,432.4							
無立木地	N		5,560,930	46,516.3						
	L	33,331.52	6,286,635	48,948.7	113.75				183.78	
計	7.88	268	23.8							
附帯地	N									
	L									
計	507.33									
林地以外 の土地	N		16,900,615	447,880.9					60,887	
	L		6,957,678	65,858.8						
計	86,168.23	23,858,293	513,739.7	1,282.57		1,032.72			6,637	
合計	N	901.79								
	L	802.16	2,435							
計	1,418.74	407								
合計	N		2,028							
	L	3,122.69	2,435							
計	16,901,022	447,880.9	60,887						6,637	
計	6,959,706	65,858.8	60,887							
計	89,290.92	23,860,728	513,739.7	1,282.57		1,032.72			6,637	

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	3 級			4 級			5 級			成長量			材積			成長量		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人工林	N	21.143	3,683.3					54.719	7,755.7					109,776	12,097.7			
	L	5,007	497.1					12,418	946.8					22,473	1,260.2			
	計	730.75	26,150	4,180.4	947.86			67,137	8,702.5	1,104.78				132,249	13,357.9			
林	N							28	3.4					297	33.8			
	L							54	4.2									
	計				1.05			82	7.6	2.54				297	33.8			
天然林	N		3,683.3					54,747	7,759.1					110,073	12,131.5			
	L		497.1					12,472	951.0					22,473	1,260.2			
	計	730.75	26,150	4,180.4	948.91			67,219	8,710.1	1,107.32				132,546	13,391.7			
天然林	N		4,041	424.0				1,898	150.3					1,501	85.5			
	L	109.34	4,041	424.0	35.39			1,898	150.3	19.29				1,501	85.5			
	計	5.88	226	26.6	27.91			1,408	111.8	75.53				6,143	336.0			
林	N		4	0.8				87	12.9					18	2.3			
	L		7,853	769.7				60,286	4,410.0					120,499	6,802.4			
	計	188.03	7,857	770.5	927.47			60,373	4,422.9	1,378.15				120,517	6,804.7			
竹	N		63	11.1				273	41.6					575	64.8			
	L		12,061	1,210.0				63,592	4,672.1					128,143	7,223.9			
	計	303.25	12,124	1,221.1	990.77			63,865	4,713.7	1,472.97				128,718	7,288.7			
無立木地	N		268	23.8														
	L																	
	計																	
計	N		21,206	3,694.4				55,020	7,800.7					110,648	12,196.3			
	L		17,068	1,707.1				76,064	5,623.1					150,616	8,484.1			
	計	1,034.00	38,274	5,401.5	1,939.68			131,084	13,423.8	2,580.29				261,264	20,680.4			
林以外の土地	N																	
	L																	
	計																	
合計	N		21,206	3,694.4				55,020	7,800.7					110,648	12,196.3			
	L		17,068	1,707.1				76,064	5,623.1					150,616	8,484.1			
	計	1,034.00	38,274	5,401.5	1,939.68			131,084	13,423.8	2,580.29				261,264	20,680.4			

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	6 級			7 級			8 級		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人工林	N	284.299	22,630.7		927.795	52,849.7		1,783.530	77,412.6
	L	51.481	2,173.2		78,570	2,464.7		73,934	1,745.7
	計	1,921.14	335,780	24,803.9	4,099.50	55,314.4	5,512.05	1,857,464	79,158.3
林	N		105.4						
	L		56.8			4.1			
	計	26.24	2,595	162.2	0.75	4.1			
天然林	N		22,736.1		927.795	52,849.7		1,783.530	77,412.6
	L		2,230.0		78,685	2,468.8		73,934	1,745.7
	計	1,947.38	338,375	24,966.1	4,100.25	55,318.5	5,512.05	1,857,464	79,158.3
天然林	N			85.8		41.0			
	L	20.01	2,026	85.8	11.58	41.0			
	計		520	38.5	1,069	61.0		846	38.6
林	N		15,855	678.7		140.0			
	L	139.48	16,375	717.2	26.12	201.0	16.40	2,898	88.3
	計		22	1.8	533	25.6		455	16.9
竹	N		9,175.2		216,316	7,032.0		55,416	1,336.7
	L	1,925.26	211,554	9,177.0	1,638.34	7,057.6	442.11	55,871	1,353.6
	計		542	40.3	1,602	86.6		1,301	55.5
無立木地	N		9,939.7		222,108	7,213.0		57,468	1,386.4
	L	2,084.75	229,955	9,980.0	1,676.04	7,299.6	458.51	58,769	1,441.9
	計								
附帯地 貸地 雑地	N								
	L								
	計								
林地以外 の 土地	N								
	L								
	計								
合計	N		22,776.4		929,397	52,936.3		1,784,831	77,468.1
	L	4,032.13	282,293	12,169.7	300,793	9,681.8	5,970.56	131,402	3,132.1
	計		568,330	34,946.1	1,230,190	62,618.1	1,916,233	80,600.2	
合計	N		286,037	22,776.4		52,936.3		1,784,831	77,468.1
	L	4,032.13	282,293	12,169.7	300,793	9,681.8	5,970.56	131,402	3,132.1
	計		568,330	34,946.1	1,230,190	62,618.1	1,916,233	80,600.2	

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	9			10			11		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人工林	N	2,078,541	66,313.0		3,329,500	83,066.6		3,369,294	66,667.4
	L	90,972	1,556.2		186,609	2,357.4		299,233	2,941.8
	計	5,757,26	2,169,513	67,869.2	8,977.80	85,424.0	9,154.51	3,668,527	69,609.2
天然林	N				6,965	172.8		23,312	459.3
	L			(19.39)	6,965	172.8	(82.28)	23,312	459.3
	計			2.53	3,336,465	83,239.4		3,392,606	67,126.7
天然林	N		66,313.0		186,609	2,357.4		299,233	2,941.8
	L		1,556.2		3,523,074	85,596.8		3,691,839	70,088.5
	計	5,757,26	2,169,513	67,869.2	8,980.33		9,154.51		
天然林	N				70	1.0			
	L			0.90	70	1.0			
	計				10,512	246.1		9,133	168.0
天然林	N		16.4		16,668	215.4		21,944	223.6
	L		40.8		27,180	461.5	119.34	31,077	391.6
	計	13.76	2,895	57.2	3,183	70.9		4,071	74.9
天然林	N		257	8.4	166,000	2,198.1		253,126	2,443.9
	L		72,926	1,272.1	169,183	2,269.0	1,390.24	257,197	2,518.8
	計	498.23	73,183	1,280.5	13,695	317.0		13,204	242.9
天然林	N		813	24.8	182,738	2,414.5		275,070	2,667.5
	L		75,265	1,312.9	196,433	2,731.5	1,509.58	288,274	2,910.4
	計	511.99	76,078	1,337.7					
竹	N								
	L								
	計								
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N		66,337.8		3,350,160	83,556.4		3,405,810	67,369.6
	L		2,869.1		369,347	4,771.9		574,303	5,609.3
	計	6,269.25	2,245,591	69,206.9	10,025.38	88,328.3	10,664.09	3,980,113	72,978.9
林外 の 土地	N								
	L								
	計								
合計	N		66,337.8		3,350,160	83,556.4		3,405,810	67,369.6
	L		2,869.1		369,347	4,771.9		574,303	5,609.3
	計	6,269.25	2,245,591	69,206.9	10,025.38	88,328.3	10,664.09	3,980,113	72,978.9

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	1 2			1 3			1 4		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人	N		30,578.5		1,234,609	15,146.5		408,527	4,111.4
	L		1,434.1		184,198	1,175.5		63,594	348.8
	計	5,655.98	2,181,768	32,012.6	1,418,807	16,322.0	1,208.87	472,121	4,460.2
工	N		424.0		61,345	701.8		42,133	427.6
	L		33.6		13,083	89.0		7,953	41.8
	計	(123.10)	457.6	(236.22)	74,428	790.8	(164.41)	50,086	469.4
林	N		31,002.5		1,295,954	15,848.3		450,660	4,539.0
	L		1,467.7		197,281	1,264.5		71,547	390.6
	計	5,655.98	2,214,954	32,470.2	1,493,235	17,112.8	1,208.87	522,207	4,929.6
天	N								
	L								
	計								
然	N		103.5		28,987	387.1		9,518	83.3
	L		159.8		60,316	382.6		19,698	114.3
	計	107.98	25,180	267.46	89,303	769.7	106.26	29,216	197.6
生	N		85.7		11,023	142.6		10,164	94.9
	L		1,610.6		181,952	1,157.9		178,411	946.1
	計	1,135.97	213,719	1,696.3	192,975	1,300.5	860.48	188,575	1,041.0
林	N		189.2		40,010	529.7		19,682	178.2
	L		1,770.4		242,268	1,540.5		198,109	1,060.4
	計	1,243.95	238,899	1,959.6	282,278	2,070.2	966.74	217,791	1,238.6
竹									
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N		31,191.7		1,335,964	16,378.0		470,342	4,717.2
	L		3,238.1		439,549	2,805.0		269,656	1,451.0
	計	6,899.93	2,453,853	34,429.8	1,775,513	19,183.0	2,175.61	739,998	6,168.2
附帯地 貸地 雑地	N								
	L								
	計								
林地 以外の 土地	N		31,191.7		1,335,964	16,378.0		470,342	4,717.2
	L		3,238.1		439,549	2,805.0		269,656	1,451.0
	計	6,899.93	2,453,853	34,429.8	1,775,513	19,183.0	2,175.61	739,998	6,168.2
合 計	N		31,191.7		1,335,964	16,378.0		470,342	4,717.2
	L		3,238.1		439,549	2,805.0		269,656	1,451.0
	計	6,899.93	2,453,853	34,429.8	1,775,513	19,183.0	2,175.61	739,998	6,168.2

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	1 5			1 6			1 7		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人	N	33,677	231.6		23,528	126.5		42,555	178.4
	L	10,122	50.3		8,216	36.8		9,829	35.5
	計	125.67	43,799	281.9	87.36	31,744	163.3	236.22	213.9
工	N		52.1					576	1.7
	L		1,413	7.1					
	計	(31.15)	8,623	59.2			(2.29)		
林	N		40,887	283.7		23,528	126.5	576	1.7
	L		11,535	57.4		8,216	36.8	43,131	180.1
	計	125.67	52,422	341.1	87.36	31,744	163.3	9,829	35.5
天	N							52,960	215.6
	L								
	計								
然	N								
	L								
	計								
林	N								
	L								
	計								
竹	N								
	L								
	計								
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N		398.9		50,107	282.3		83,747	360.7
	L		1,368.1		218,126	1,023.9		264,816	936.8
	計	1,358.72	329,954	1,767.0	1,148.56	268,233	1,306.2	348,563	1,297.5
附帯地 貸地 雑地	N								
	L								
	計								
林地 以外の 土地	N								
	L								
	計								
合計	N		56,364	398.9	50,107	282.3		83,747	360.7
	L		273,590	1,368.1	218,126	1,023.9		264,816	936.8
	計	1,358.72	329,954	1,767.0	1,148.56	268,233	1,306.2	348,563	1,297.5

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	18			19			20		
	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³	面積 ha	材積 m ³	成長量 m ³
人工林	N	61,948	180.4		19,514	24.4		37,447	11.7
	L	23,305	52.9		12,888	17.8		14,059	11.0
	計	257.61	85,253	233.3	116.24	32,402	42.2	142.54	22.7
林	N		0.1		179	0.4		227	
	L				66	0.1			
	計	(0.30)	28	(1.42)	245	0.5	(0.87)	227	
天然林	N		180.5		19,693	24.8		37,674	11.7
	L		52.9		12,954	17.9		14,059	11.0
	計	257.61	85,281	233.4	116.24	32,647	42.7	51,733	22.7
天然林	N								
	L								
	計								
林	N		19.4		6,985	11.7		4,341	0.8
	L		30.2		11,473	20.3		11,614	5.1
	計	87.58	20,671	49.6	63.42	18,458	69.09	15,955	5.9
林	N		141.4		7,183	11.0		26,888	14.8
	L		506.2		111,717	193.8		187,543	150.3
	計	1,070.25	234,342	647.6	563.98	204.8	915.80	214,431	165.1
林	N		160.8		14,168	22.7		31,229	15.6
	L		536.4		123,190	214.1		199,157	155.4
	計	1,157.83	255,013	697.2	627.40	137,358	985.49	230,386	171.0
無立木地	N								
	L								
	計								
計	N	113,840	341.3		33,861	47.5		68,903	27.3
	L	226,454	589.3		136,144	232.0		213,216	166.4
	計	1,415.44	340,294	930.6	743.64	170,005	1,128.03	282,119	193.7
林以外の土地	N								
	L								
	計								
合計	N		113,840	341.3		33,861	47.5	68,903	27.3
	L		226,454	589.3		136,144	232.0	213,216	166.4
	計	1,415.44	340,294	930.6	743.64	170,005	1,128.03	282,119	193.7

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

(面積：ha, 材積：m³, 成長量：m³/年)

区分	21 齢級以上		成長量 m ³
	面積 ha	材積 m ³	
育成 単層林	N	105,341	
	L	44,459	
	計	149,800	
育成 複層林	N	4,336	
	L	155	
	(19.28)		
	計	4,491	
林	N	109,677	
	L	44,614	
	計	154,291	
育成 単層林	N		
	L		
	計		
育成 複層林	N	9,410	
	L	25,768	
	計	35,178	
天然 林	N	431,891	
	L	2,370,291	
	計	2,802,182	
林	N	441,301	
	L	2,396,059	
	計	2,837,360	
竹			
無立木地	N		
	L		
	計		
計	N	550,978	
	L	2,440,673	
	計	2,991,651	
附帯地 貸地 雑地			
林地 以外の 土地	N		
	L		
	計		
合計	N	550,978	
	L	2,440,673	
	計	2,991,651	

(注) 1 () は、複層林の上木面積 2 材積には、点生木及び被害木を含む

2 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 h a、材積 m³)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						快速環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
	土砂流出崩壊防備			気象害防備			面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
	面積	材積	計	面積	材積	計										
人工林	4,938.06	1,651,069	1.98	931	4,940.04	1,652,000			45,449.22	15,250,555	519.32	160,416	740.09	235,907	51,648.67	17,298,878
天然林	24.73	8,385			24.73	8,385			628.78	255,945	11.02	3,276	16.18	5,174	680.71	272,780
小計	4,962.79	1,659,454	1.98	931	4,964.77	1,660,385			46,078.00	15,506,500	530.34	163,692	756.27	241,081	52,329.38	17,571,658
人工林	1.80	249			1.80	249			289.96	10,607					291.76	10,856
天然林	438.56	97,485			438.56	97,485			1,013.23	261,946	82.24	22,213	32.18	9,963	1,566.21	391,607
小計	11,781.63	2,219,051			11,781.63	2,219,051			12,632.61	2,139,100	5,710.91	1,167,292	1,348.40	358,729	31,473.55	5,884,172
無立木地	12,221.99	2,316,785			12,221.99	2,316,785			13,935.80	2,411,653	5,793.15	1,189,505	1,380.58	368,692	33,331.52	6,286,635
竹林									506.94		0.39				507.33	
林地計	17,184.78	3,976,239	1.98	931	17,186.76	3,977,170			7.88	268					7.88	268
林地以外	562.16		0.03		562.19				60,520.74	17,918,153	6,323.88	1,353,197	2,136.85	609,773	86,168.23	23,858,293
合計	17,746.94	3,976,239	2.01	931	17,748.95	3,977,170			1,977.56	1,451	454.18	757	128.76	227	3,122.69	2,435
									(7.88)	(268)					(7.88)	(268)
									62,498.30	17,919,604	6,778.06	1,353,954	2,265.61	610,000	89,290.92	23,860,728

注1 < >は機能類型区分外で内書。 2 ()は竹林の面積及び材積で外書。

3 林道等の現況

(単位：k m)

区 分	林 道			作 業 道
	自動車道	軽車道	合 計	
延 長	5,656	59	5,715	1,619

4 収穫予想表

「別表1」のとおり

5 地元施設等の現況

(単位：h a)

区 分		面 積
分収造林契約に基づく分収林		5,455.84
分収育林契約に基づく分収林		195.93
共 用 林 野	普 通	815.13
	薪 炭	24.77
	放 牧	-
	合 計	839.90
貸 地	植 樹 用 地	-
	農 耕 用 地	117.32
	鉱 業 用 地	-
	道 路 用 地	317.79
	水 路 用 地	16.32
	電 気 事 業 用 地	128.83
	温 鉱 泉 用 地	1.99
	学 校 用 地	-
	採 草 放 牧 地	79.63
	建 物 用 地	12.60
	そ の 他 貸 地	127.68
合 計	802.16	

別表1 収穫予想表 (宮崎森林管理署)

林 齢	樹 種		ス ギ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	%	
5															
10	4.7	3.9	2,630	18		1.8					18		18	1.8	
					6.0							6.0			18.2
15	9.0	5.8	2,120	48		3.2	510			2,630	48		48	3.2	
					9.2							12.4			15.7
20	12.7	7.9	1,760	94		4.7	360	16	16	2,120	110		110	5.5	
					11.2							15.4			11.6
25	15.7	9.8	1,495	150		6.0	265	21	37	1,760	171		187	7.5	
					12.2							17.0			8.8
30	18.2	11.4	1,305	211		7.0	190	24	61	1,495	235		272	9.1	
					9.2							14.4			5.8
35	20.5	12.7	1,160	257		7.3	145	26	87	1,305	283		344	9.8	
					7.8							12.6			4.4
40	22.5	13.8	1,050	296		7.4	110	24	111	1,160	320		407	10.2	
					5.8							10.6			3.3
45	24.2	14.7	960	325		7.2	90	24	135	1,050	349		460	10.2	
					5.0							9.0			2.6
50	25.4	15.5	895	350		7.0	65	20	155	960	370		505	10.1	
					4.6							7.6			2.1
55	26.5	16.1	850	373		6.8	45	15	170	895	388		543	9.9	
					4.0							6.8			1.7
60	27.4	16.7	810	393		6.6	40	14	184	850	407		577	9.6	
					3.6							6.0			1.5
65	28.2	17.1	780	411		6.3	30	12	196	810	423		607	9.3	
70															
75															
80															

林 齡	樹 種		ヒノキ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	%	
5															
10	4.2	3.1	2,940	14		1.4					14		14	1.4	
					6.2							6.2			21.0
15	8.0	4.9	2,350	45		3.0	590			2,940	45		45	3.0	
					8.2							10.6			14.8
20	11.4	7.2	1,920	86		4.3	430	12	12	2,350	98		98	4.9	
					9.8							12.8			10.8
25	14.3	9.3	1,630	135		5.4	290	15	27	1,920	150		162	6.5	
					9.4							12.6			7.6
30	16.8	11.0	1,430	182		6.1	200	16	43	1,630	198		225	7.5	
					7.8							11.0			5.3
35	18.6	12.3	1,280	221		6.3	150	16	59	1,430	237		280	8.0	
					6.8							9.8			4.0
40	20.1	13.4	1,170	255		6.4	110	15	74	1,280	270		329	8.2	
					6.0							8.2			3.0
45	21.3	14.1	1,100	285		6.3	70	11	85	1,170	296		370	8.2	
					4.4							6.2			2.1
50	22.2	14.6	1,050	307		6.1	50	9	94	1,100	316		401	8.0	
					3.8							5.4			1.7
55	22.9	15.0	1,010	326		5.9	40	8	102	1,050	334		428	7.8	
					3.0							4.6			1.4
60	23.5	15.3	975	341		5.7	35	8	110	1,010	349		451	7.5	
					2.6							4.0			1.1
65	24.0	15.4	945	354		5.4	30	7	117	975	361		471	7.2	
70															
75															
80															

林 齡	樹 種		マ ツ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
5															
10	5.3	3.6	4,145	18		1.8					18		18	1.8	
					4.4							5.6			17.5
15	7.8	5.7	2,855	40		2.7	1,290	6	6	4,145	46		46	3.1	
					6.4							8.2			13.6
20	10.7	7.6	2,148	72		3.6	707	9	15	2,855	81		87	4.4	
					7.0							9.2			9.7
25	13.3	9.3	1,728	107		4.3	420	11	26	2,148	118		133	5.3	
					6.6							9.0			6.9
30	15.5	10.6	1,433	140		4.7	295	12	38	1,728	152		178	5.9	
					5.0							7.6			4.6
35	17.7	11.8	1,210	165		4.7	223	13	51	1,433	178		216	6.2	
					4.0							6.6			3.6
40	19.5	12.7	1,038	185		4.6	172	13	64	1,210	198		249	6.2	
					3.0							5.4			2.7
45	21.1	13.5	908	200		4.4	130	12	76	1,038	212		276	6.1	
					2.2							4.4			2.1
50	22.7	14.2	805	211		4.2	103	11	87	908	222		298	6.0	
					1.8							3.8			1.7
55	23.7	14.8	728	220		4.0	77	10	97	805	230		317	5.8	
					1.4							3.2			1.4
60	25.2	15.3	665	227		3.8	63	9	106	728	236		333	5.6	
					0.8							2.6			1.1
65	26.3	15.9	613	231		3.6	52	9	115	665	240		346	5.3	
					0.6							2.2			0.9
70	27.1	16.3	573	234		3.3	40	8	123	613	242		357	5.1	
					0.6							1.8			0.8
75	27.8	16.6	540	237		3.2	33	6	129	573	243		366	4.9	
					0.2							1.4			0.6
80	28.0	16.8	513	238		3.0	27	6	135	540	244		373	4.7	

林 齡	樹 種		広葉樹				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	%	
5															
10	6.5	5.3		34		3.4					34		34	3.4	
					4.6						4.6			10.0	
15	7.3	6.1		57		3.8					57		57	3.8	
					5.0						5.0			7.2	
20	8.1	6.8		82		4.1					82		82	4.1	
					5.2						5.2			5.5	
25	8.8	7.4		108		4.3					108		108	4.3	
					5.2						5.2			4.3	
30	9.4	8.0		134		4.5					134		134	4.5	
					4.6						4.6			3.2	
35	10.0	8.6		157		4.5					157		157	4.5	
					3.8						3.8			2.3	
40	10.5	9.1		176		4.4					176		176	4.4	
					3.2						3.2			1.7	
45	10.9	9.6		192		4.3					192		192	4.3	
				.	2.4						2.4			1.2	
50	11.3	10.1		204		4.1					204		204	4.1	
					1.8						1.8			0.9	
55	11.6	10.5		213		3.9					213		213	3.9	
					1.6						1.6			0.7	
60	11.9	10.9		221		3.7					221		221	3.7	
					1.4						1.4			0.6	
65	12.1	11.1		228		3.5					228		228	3.5	
					1.2						1.2			0.5	
70	12.3	11.4		234		3.3					234		234	3.3	
75															
80															

別表1 収穫予想表 (宮崎森林管理署都城支署)

林 齢	樹 種		ス ギ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 た り				h a 当 た り			h a 当 た り					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	%	
5				6		1.2					6		6	1.2	
						4.0							4.0		25.0
10	6.1	5.6	2,770	26		2.6				2,770	26		26	2.6	
						5.4							8.2		17.6
15	9.2	7.6	2,090	53		3.5	680	14	14	2,770	67		67	4.5	
						7.6							11.6		14.1
20	12.3	9.5	1,660	91		4.6	430	20	34	2,090	111		125	6.3	
						9.2							14.0		11.1
25	15.5	10.9	1,370	137		5.5	290	24	58	1,660	161		195	7.8	
						9.6							14.4		8.3
30	18.3	12.4	1,180	185		6.2	190	24	82	1,370	209		267	8.9	
						8.2							12.6		5.8
35	20.7	13.6	1,050	226		6.5	130	22	104	1,180	248		330	9.4	
						6.8							10.6		4.2
40	22.7	14.5	960	260		6.5	90	19	123	1,050	279		383	9.6	
						5.4							8.8		3.1
45	24.3	15.3	890	287		6.4	70	17	140	960	304		427	9.5	
						4.6							7.6		2.5
50	25.7	15.9	840	310		6.2	50	15	155	890	325		465	9.3	
						3.8							6.2		1.9
55	26.8	16.4	800	329		6.0	40	12	167	840	341		496	9.0	
						3.2							5.0		1.5
60	27.6	16.8	770	345		5.8	30	9	176	800	354		521	8.7	
						2.4							3.6		1.0
65	28.2	17.0	760	357		5.5	20	6	182	780	363		539	8.3	
						2.2							3.0		0.8
70	28.6	17.2	750	368		5.3	10	4	186	760	372		554	7.9	
75															
80															

林 齡	樹 種		ヒノキ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
5				5		1.0					5		5	1.0	
						1.8							1.8		18.9
10	4.6	4.0		14		1.4					14		14	1.4	
						3.4							4.6		18.0
15	7.2	6.0	2,660	31		2.1		6	6	2,660	37		37	2.5	
						5.6							7.4		14.9
20	9.7	7.6	2,110	59		3.0	550	9	15	2,660	68		74	3.7	
						7.4							10.0		11.9
25	12.4	9.2	1,740	96		3.8	380	13	28	2,120	109		124	5.0	
						7.8							10.6		8.7
30	14.8	10.6	1,480	135		4.5	250	14	42	1,730	149		177	5.9	
						7.4							10.6		6.6
35	16.9	11.8	1,290	172		4.9	192	16	58	1,482	188		230	6.6	
						6.4							9.4		4.8
40	18.9	13.0	1,150	204		5.1	140	15	73	1,290	219		277	6.9	
						5.2							7.8		3.5
45	20.4	13.8	1,050	230		5.1	100	13	86	1,150	243		316	7.0	
						4.6							6.8		2.8
50	21.7	14.6	990	253		5.1	70	11	97	1,060	264		350	7.0	
						3.6							5.4		2.0
55	22.7	15.0	940	271		4.9	50	9	106	990	280		377	6.9	
						3.0							4.2		1.5
60	23.5	15.4	910	286		4.8	30	6	112	940	292		398	6.6	
						2.4									1.0
65	24.1	15.6	900	298		4.6	20	3	115	920	301		413	6.4	
70															
75															
80															

林 齡	樹 種		マ ツ				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	%	
5				6		1.2					6		6	1.2	
						2.4							2.4		
10	5.3	3.6	4,150	18		1.8				4,150	18		18	1.8	
						4.4							5.6		
15	7.8	5.7	2,870	40		2.7	1,290	6	6	4,160	46		46	3.1	
						6.2							8.0		
20	10.7	7.6	2,160	71		3.6	710	9	15	2,870	80		86	4.3	
						7.0							9.2		
25	13.2	9.3	1,740	106		4.2	420	11	26	2,160	117		132	5.3	
						6.6							9.0		
30	15.4	10.6	1,440	139		4.6	300	12	38	1,740	151		177	5.9	
						5.0							7.6		
35	17.6	11.7	1,220	164		4.7	220	13	51	1,440	177		215	6.1	
						4.0							6.6		
40	19.4	12.7	1,050	184		4.6	170	13	64	1,220	197		248	6.2	
						3.0							5.4		
45	21.0	13.4	920	199		4.4	130	12	76	1,050	211		275	6.1	
						2.0							4.2		
50	22.6	14.1	810	209		4.2	100	11	87	910	220		296	5.9	
						1.8							3.8		
55	23.8	14.7	730	218		4.0	80	10	97	810	228		315	5.7	
						1.4							3.2		
60	25.1	15.2	670	225		3.8	60	9	106	730	234		331	5.5	
						0.8							2.6		
65	26.2	15.8	620	229		3.5	50	9	115	670	238		344	5.3	
						1.6							1.6		
70	27.0	16.2	580	237		3.4	40		115	620	237		352	5.0	
75															
80															

林 齡	樹 種		広葉樹				地 位			2					
	主 林 木						副 林 木			主 副 林 木 合 計					
	平均 胸高 直径	平均 樹高	h a 当 たり				h a 当 たり			h a 当 たり					成 長 率
			本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	平 均 成 長 量	本 数	幹 材 積	幹 材 積 累 計	本 数	幹 材 積	連 年 成 長 量	総 収 穫 量	平 均 成 長 量	
cm	m	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	%	
5			12		2.4					12		12	2.4		
					3.0							3.0			
10	6.1	6.2	27		2.7					27		27	2.7		
					3.8							3.8			
15	7.5	6.9	46		3.1					46		46	3.1		
					4.6							4.6			
20	8.6	7.6	69		3.5					69		69	3.5		
					4.8							4.8			
25	9.6	8.3	93		3.7					93		93	3.7		
					4.6							4.6			
30	10.4	8.9	116		3.9					116		116	3.9		
					4.0							4.0			
35	11.2	9.5	136		3.9					136		136	3.9		
					3.4							3.4			
40	11.9	9.9	153		3.8					153		153	3.8		
					3.0							3.0			
45	12.6	10.4	168		3.7					168		168	3.7		
					2.6							2.6			
50	13.2	10.7	181		3.6					181		181	3.6		
					2.0							2.0			
55	13.7	11.0	191		3.5					191		191	3.5		
					1.8							1.8			
60	14.1	11.3	200		3.3					200		200	3.3		
					1.4							1.4			
65	14.5	11.5	207		3.2					207		207	3.2		
70															
75															
80															

